NTT docomo

dtab Compact

d-42A

取扱説明書 ’22.10

本書は「Android™ 11」をベースに記載しており、OSバージョンアップにより変更が入ったアプリや機能などについて「Android 12による変更点」にまとめて記載しています。
Android 12にバージョンアップしたお客様は「Android 12による変更点」をご確認ください。

はじめに

「d-42A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

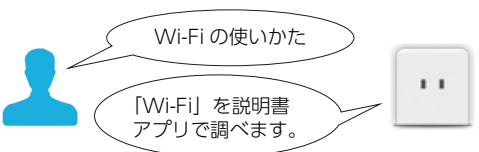
各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。

▶ ご利用方法

ホーム画面で［⊞］→［取扱説明書］
※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
※「my daiz」から「取扱説明書」（eトリセツ）アプリを呼び出すこともできます。



■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「d-42A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、初期状態の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書は、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

＜例：ホーム画面に表示されている「⁘」をタップし、アプリ一覧画面から「設定」を起動する操作手順＞

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

Android 12による変更点

Android 12による変更

Android 12にバージョンアップを行うことで変更が加わった箇所について説明します。
本書は「Android 11」をベースに記載しておりますのでP.1以降は基本的に「Android 11」の記載です。
本項目に記載がない場合は、P.1以降の項目でご確認ください。
操作に大きく影響しない変更点は、一部説明を省略しております。

追加／変更項目一覧

項目	内容	説明ページ
全体	• 色やデザインが変更されます。	ー
初期設定	• 手順が一部変更されます。画面の指示に従って操作してください。	ー
スクリーンショット	• スクロール可能な画面では、スクリーンショットの範囲を調整できるようになります。 • （電源キー）と（音量下キー）を同時に押して画面をキャプチャできるようになります。	P.S-4
アプリの権限	• アプリをはじめて起動するときなどに表示される、アプリの権限を設定する画面で、位置情報の精度を「正確」と「おおよそ」から選択できるようになります。	ー
マイク、カメラ	• マイク、カメラ利用中は、ステータスバーに「」「」が表示されるようになります。	ー
ステータスアイコン	• 圏外の状態を表すステータスアイコンが「」に変更されます。 • インターネット利用不可のWi-Fi接続中に表示されるステータスアイコンが「」に変更されます。	ー
通知パネル	• 機能ボタンの「Wi-Fi」「モバイルデータ」が「インターネット」に変更されます。タップで「インターネット接続」、ロングタッチでWi-Fiの設定画面が表示されます。	ー

項目	内容	説明ページ
ホーム画面：ウィジェット	• ウィジェットをホーム画面に追加する方法が変更されます。 • Google 検索バーに「」が追加され、Google Lens™を起動できるようになります。	P.S-4
アプリ一覧	•「Amazon Kindle」アプリの名称が「Kindle」に変更されます。 •「Google Playムービー&TV」アプリの名称が「Google TV」に変更されます。 ※使用状況によっては「Google Playムービー&TV」が表示される場合もあります。	—
Chromeの設定	•「ライトモード」が「テーマ」に移動されます。	—
時計	• 操作が一部変更されます。	P.S-5
設定メニュー	• 項目の並びが変更されます。 •「詳細設定」にまとめられていた項目が、他の項目と同様に表示されるようになります。	—
設定：アプリと通知	•「アプリ」と「通知」に分かれ、一部項目が変更されます。	P.S-5

項目	内容	説明ページ
設定：電池	•「バッテリー」に変更されます。 •「バッテリー使用量」が追加され、フル充電以降のアプリごとのバッテリー使用量を確認できます。	—
設定：ストレージ	• 項目や操作が一部変更されます。	P.S-6
設定：音	• マナーモードを設定する操作が変更されます。	P.S-7
設定：ディスプレイ	• 一部の項目が変更されます。 •「ロック画面」内の「ロック画面上の通知」が「プライバシー」に変更されます。 •「ロック画面」内に「デバイスコントロールを表示」が追加され、ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかどうかを設定できます。	—
設定：壁紙	•「ディスプレイ」から「壁紙」が移動されます。	—
設定：ユーザー補助	• 一部項目が変更されます。	P.S-7
設定：セキュリティ	• 一部の項目名が変更されます。	—

項目	内容	説明ページ
設定：プライバシー	• 一部の項目名が変更されます。 •「プライバシー ダッシュボード」が追加され、権限を使用したアプリを確認したり、設定を変更したりできます。 •「クリップボードへのアクセスを表示」が追加され、コピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたとき、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。	—
設定：位置情報	• 一部の項目名が変更されます。 •「位置情報へのアプリのアクセス」が「アプリへの位置情報の利用許可」に変更されます。 • 一部の項目が「位置情報サービス」にまとめられます。	—
設定：緊急情報と緊急通報	•「緊急情報と緊急通報」が追加されます。	P.S-8
設定：ドコモのサービス／クラウド	•「端末アプリ情報送信」が「端末情報送信」に変更されます。	—
設定：アカウント	•「パスワードとアカウント」に変更され、一部項目が変更されます。	—
設定：システム	• 一部項目が変更されます。	P.S-8
設定：タブレット情報	•「緊急時情報」が「緊急情報と緊急通報」に移動されます。	—
USB接続	• 本端末とパソコンなどをUSBケーブルで接続したときに表示される画面に、「動画をAVC に変換」が追加されます。動画を転送するときに、自動で動画の形式をH.264（AVC）に変換できるようになります。 • Microsoft Windows 11にも対応しています。	—

削除項目一覧

項目	内容	説明ページ
スクリーンショット	タスクマネージャー／分割画面から「スクリーンショット」が削除されます。	P.46
アラーム	鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示される「解除」が削除されます。	P.82
ストップウォッチ	計測結果の共有機能が削除されます。	P.84
設定メニュー	各設定画面の「🔍」が削除されます。	P.91

項目	内容	説明ページ
設定：ネットワークとインターネット	「Wi-Fi設定」内の「ネットワーク評価プロバイダ」が削除されます。	P.94
設定：アプリと通知	「権限マネージャ」が削除されます。	P.103
設定：電池	「特別なアプリアクセス」内の「電池の最適化」が削除されます。「アプリは正常に実行されています」、「前回のフル充電」、「最後にフル充電してからの使用時間」が削除されます。	P.105
設定：ディスプレイ	「ロック画面の設定」内の「ロックダウン オプションの表示」が削除されます。	P.106
設定：ドコモのサービス／クラウド	「ドコモクラウド」が削除されます。	P.115
設定：システム	「ジェスチャー」内の「電源ボタン メニュー」が削除されます。	P.120

Android 12による変更点の詳細

スクリーンショットの保存範囲を変更する

スクロール可能な画面を表示しているときにスクリーンショットを撮影すると、画面に表示されていない範囲も撮影されます。撮影した画像は、範囲を調整して保存することができます。

1 画面をキャプチャする

2 [キャプチャ範囲を拡大]

3 保存範囲を調整→[保存]

ウィジェットを追加する

以下の操作に変更されます。

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 [ウィジェット]

3 ホーム画面に追加したいウィジェットのアプリをタップ

4 追加したいウィジェットをロングタッチ→追加したい場所までドラッグ

時計

以下の操作や表示が変更されます。

■アラームを止める

1 アラームが鳴っているときに「 」を「ストップ」までスライド(スワイプ)

- スヌーズを利用する場合は、「 」を「スヌーズ」までスライド（スワイプ）します。

・画面の点灯時（ロック画面を除く）は画面上部に表示される「ストップ」／「スヌーズ」をタップしてアラームを止めることができます。

■世界時計を利用する

・都市を追加するアイコンが「 」に変更されます。
・追加した都市を左右にフリックすると、都市を削除できます。

■タイマーを利用する

・タイマーを止めるときに画面上部に表示される「停止」が「ストップ」に変更されます。
・タイマーを追加するときの「タイマーを追加」が「 」に変更されます。
・タイマーを削除するときの「削除」が「 」に変更されます。

■ストップウォッチを利用する

・「ラップ」が「 」に変更されます。
・「リセット」が「 」に変更されます。

アプリ

以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]

2 [アプリ]

項目	説明
最近開いたアプリ	機能の変更はありません。
XX 個のアプリをすべて表示	各アプリをタップして表示される項目が一部変更されます。
デフォルトのアプリ	機能の変更はありません。
利用時間	
使用されていないアプリ	追加されます。 使用されていないアプリが表示されます。
特別なアプリアクセス	項目が一部変更されます。

通知

以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]

2 [通知]

項目	説明
アプリの設定	「通知」内にあった項目です。
通知履歴	最近の通知とスヌーズに設定した通知を確認できます。

Android 12による変更点

項目	説明
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を確認します。
バブル	会話をフローティングアイコンで表示するかどうかを設定します。
デバイスとアプリの通知	追加されます。 通知へのアクセスを許可するかどうかアプリごとに設定できます。
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知の種類を設定できます。
機密性の高い通知※	画面ロックを設定しているときに、ロック画面に機密性の高い通知を表示させるかどうかを設定します。
サイレント モード	通知をオフにする設定ができます。
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定ができます。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知のアイコンを表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	通知があるときにアプリアイコンの右上に通知ドットを表示するかどうかを設定します。
点滅	通知があるときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
拡張通知	「操作や返信の候補」から項目名が変更されます。

※「画面ロック」を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定すると表示されます。

ストレージ

「ストレージ マネージャ」が追加され、バックアップしたデータを削除する設定ができます。
項目が変更され、空き容量を増やしたり、micro SDカード／USBストレージへの操作が変更されます。

- ［空き容量を増やす］をタップすると、ファイルやアプリの一時ファイルを選択して削除し、内部ストレージの空き容量を増やすことができます。
- 「このデバイス」で［ドキュメント、その他］／［音声］／［動画］／［画像］をタップするか、［このデバイス］→［SDカード］／［USBドライブ］→［ファイル］をタップするとデーター覧画面が表示され、保存されているデータの確認や、データのコピー／移動／削除／共有などの操作ができます。
- microSDカード／USBストレージの認識を解除するには、［このデバイス］→［SDカード］／［USBドライブ］→「⋮」→［取り出し］をタップします。再度認識させる場合は［このデバイス］→［SDカード］／［USBドライブ］→「⋮」→［マウント］をタップします。
- microSDカードのフォーマットを行うには、［このデバイス］→［SDカード］→［⋮］→［フォーマット］→［SDカードをフォーマット］をタップします。

マナーモードを設定する

以下の操作に変更されます。

■マナーモード（バイブあり）を設定する

1 音量上／下キーを押す→[🔔]→[📳]

- 音量調節バーのアイコンが「📳」に変わります。

■マナーモード（バイブなし）を設定する

1 音量上／下キーを押す→[🔔]→[🔕]

- 音量調節バーのアイコンが「🔕」に変わります。

ユーザー補助

以下の項目が変更されます。

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]

2 [ユーザー補助]

項目	説明
選択して読み上げ	ONにしたときにユーザー補助機能ボタンが「🔊」に変更されます。
テキストと表示	追加されます。 「フォントサイズ」「表示サイズ」「色補正」「色反転」「アニメーションを無効化」「マウスポインタを拡大」「高コントラスト テキスト」が移動されます。 「テキストを太字にする」が追加されます。
さらに輝度を下げる	追加されます。 「明るさのレベル」で設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くすることができます。
拡大	ONにしたときにユーザー補助機能ボタンが「🔍」に変更されます。
ユーザー補助機能メニュー	ONにしたときにユーザー補助機能ボタンが「⋯」に変更されます。
タイミングの管理	追加されます。 「長押しの認識時間」「操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）」「自動クリック（静止時間）」が移動されます。
システム操作	追加されます。 「システム ナビゲーション」「画面の自動回転」が移動されます。
音声の調整	追加されます。 「モノラル音声」「オーディオ バランス」が移動されます。
ロック画面からのショートカット	「ユーザー補助機能のショートカット」に移動されます。
ユーザー補助機能のショートカット	追加されます。 ユーザー補助機能ボタンの表示位置やサイズなどの設定やロック画面からのショートカットを設定できます。

Android 12による変更点

緊急情報と緊急通報

以下の項目が表示されます。

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [緊急情報と緊急通報]

項目	説明
緊急時情報を開く	医療に関する情報や緊急連絡先を登録／表示します。
緊急時情報	
緊急 SOS	緊急通報に関する設定ができます。本端末では緊急通報は使用できません。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービスを使用するかどうかを設定します。
緊急速報メール	緊急速報メールについて設定します。

システム

以下の項目が変更されます。

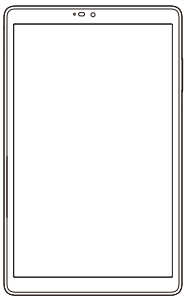
1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [システム]

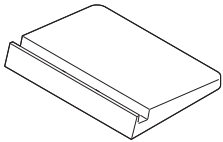
項目	説明
言語と入力	「自動入力サービス」が「パスワードとアカウント」に移動されます。
日付と時刻	「ネットワークの時刻を使用する」が「日時を自動的に設定」に変更されます。「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」が「タイムゾーンを自動的に設定」に変更されます。「タイムゾーンの設定に位置情報を使用」が追加されます。
バックアップ	バックアップの操作や項目が変更されます。画面の指示に従って操作してください。
リセット オプション	「SIM情報初期化」が追加されます。

本体付属品

■本体



■d-42A 充電スタンド



■カードスロットピン（試供品）

■クイックスタートガイド

■ご利用にあたっての注意事項

・本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

目次

Android 12による変更点

Android 12による変更 S-1
Android 12による変更点の詳細 S-4

本体付属品

本体付属品 1

注意事項

本端末のご利用について 5
おすすめ機能 6
安全上のご注意（必ずお守りください） 7
本端末、アダプタ、充電スタンドの
取り扱いについて（共通） 8
本端末の取り扱いについて 10
アダプタ、充電スタンドの取り扱いについて 13
医用電気機器近くでの取り扱いについて 15
試供品（カードスロットピン）の取り扱いについて 15
材質一覧 16
取り扱い上のご注意 16
防水／防塵性能 21
防水／防塵性能を維持するために 22

ご使用前の準備

各部の名称と機能 25
microSDカード 27
充電 30
電源を入れる／切る 33
初期設定 34
本端末で利用する暗証番号について 35

基本操作

基本操作 36
文字入力 39
通知LED 43
画面表示とアイコン 43
タスクマネージャー 46
分割画面 46
音声エージェント 47

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた 48
docomo LIVE UX 48
シンプルメニュー 53
アプリ一覧 54

電話帳

電話帳 59
連絡先を登録する 59
連絡先を利用する 59
連絡先をインポート／エクスポートする 62

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール 63
+メッセージ 63
Gmail 69
緊急速報「エリアメール」 69
Chrome 70

カメラ／フォト

カメラ 73
フォト 77

アプリ

dメニュー 78
dマーケット 78
Playストア 78
ラジオ 79
YouTube 79
GPS／ナビ 80
時計 82
天気予報 84
スケジュール 85
メモ 86
ドコモデータコピー 87
キッズモード 88

本体設定

設定メニュー 91
ネットワークとインターネット 91
接続済みのデバイス 102
アプリと通知 103
電池 105
ディスプレイ 106
音 107
ストレージ 109
プライバシー 110
位置情報 110
セキュリティ 111
ドコモのサービス／クラウド 115
アカウント 116
ユーザー補助 117
Digital Wellbeing と保護者による使用制限 119
Google 119
システム 119
タブレット情報 122

ファイル管理

ストレージ構成 124
ファイル操作 124

データ通信

Bluetooth通信 126

外部機器接続

パソコンと接続する 129
キャストを利用する 130

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要 131
海外で利用可能なサービス 131
海外でご利用になる前に 131
帰国後の確認 133

付録

試供品（カードスロットピン） 134
トラブルシューティング（FAQ） 134
ソフトウェアアップデート 140
保証とアフターサービス 142
あんしん遠隔サポート 144
主な仕様 145
データ通信端末の比吸収率（SAR）について 147
FCC Regulatory Compliance 149
EU Regulatory Conformance 150
輸出管理規制 150
知的財産権について 151
SIMロック解除 152

索引 153

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンに「 」が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail™、Google Play™などのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■キッズモード（P.88）

お子様向けのモードです。使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。
また、お子様の指紋を登録しておけば、ロック画面から直接キッズモードを起動することができます。

■シンプルメニュー（P.53）

ホーム画面のレイアウトがシンプルになり、アイコンや文字が大きく表示されます。

■バッテリー保護モード（P.105）

バッテリー容量を調節して、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、充電スタンドの取り扱いについて（共通）

⚠危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.21「防水／防塵性能」

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.21「防水／防塵性能」

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.21「防水／防塵性能」

充電端子やUSB Type-C接続端子、イヤホンジャックに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.21「防水／防塵性能」

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子やUSB Type-C接続端子、イヤホンジャックに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.21「防水／防塵性能」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
カードトレイやカードスロットピンなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末、充電スタンド、カードスロットピンの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒P.16「材質一覧」

本端末の取り扱いについて

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

本端末内のmicroSDカードの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、microSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

大きな音で通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、通知バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。
突然の通知バイブレータ（振動）や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

microSDカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、カードスロットピンまたはペーパークリップの先端にご注意ください。
カードスロットピンまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタ、充電スタンドの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、充電スタンドに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

試供品（カードスロットピン）の取り扱いについて

⚠警告

カードスロットピンの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

材質一覧

本端末

使用箇所	材質／表面処理
音量上／下キー、電源キー／指紋センサー	プラスチック／マット塗装
充電端子	銅／金メッキ
ディスプレイ	強化ガラス／光学表面加工
フロントカバー（フレーム部）	PC樹脂／高光沢塗装
カメラレンズ	ガラス／光学表面加工
カメラリング	アルミニウム／アルマイト
ライト	プラスチック／光学表面加工
外装ケース（側面、上部、下部、背面）	PC樹脂＋GF／マット塗装
カードトレイ	PC樹脂＋ステンレス鋼／-

充電スタンド

使用箇所	材質／表面処理
カバー、ガイドピン	プラスチック／シボ加工
充電端子ピン	銅／金メッキ
ゴム足	ゴム／シボ加工

試供品（カードスロットピン）

使用箇所	材質／表面処理
カードスロットピン	ステンレス鋼／-

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **d-42Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
  アダプタや充電スタンドは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
  また、外部接続機器をUSB Type-C接続端子、イヤホンジャックに差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は0℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **USB Type-C接続端子、イヤホンジャックに外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  照度センサーや指紋センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
  照度センサーや指紋センサーの位置は、以下をご参照ください。
  ⇒P.25「各部の名称と機能」
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
  内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
  十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

アダプタ、充電スタンドについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

試供品（カードスロットピン）についてのお願い

- **無理な力がかからないように使用してください。**
  故障、破損の原因となります。
- **廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。**
- **カードスロットピンは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **カードスロットピンは他の携帯端末には使用しないでください。**
  携帯端末の故障、破損の原因となります。
- **カードスロットピンを、カードトレイ取り出し用の穴以外の穴などに挿入しないでください。**
  故障、破損の原因となります。

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。

  2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
  FH：変調方式がFH-SSであることを示します。
  8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
  ■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
  ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- **Bluetooth機器使用上の注意事項**
  本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**
- **無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**

  本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。

  2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
  DS/OF：変調方式がDS-SS／OFDMであることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ■■■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

  利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- **2.4GHz機器使用上の注意事項**

  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- **5GHz機器使用上の注意事項**
  5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。
  電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で［⊞］→［設定］→［システム］→［詳細設定］→［認定ロゴ］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

本端末は、カードトレイを正しく取り付けた状態で、IPX3の防水性能、IP5Xの防塵性能を有しています。

- IPX3：鉛直から両側60度の範囲から水を噴霧しても、タブレットとしての機能を有することを意味します。
- IP5X：直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置にタブレットを8時間入れてかくはんさせ、取り出したときにタブレットとしての機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

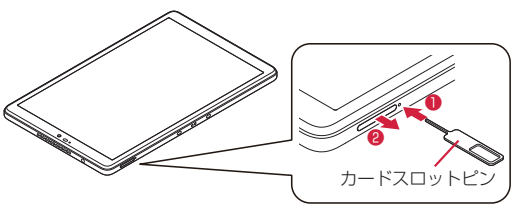
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

防水／防塵性能を維持するために

- ご使用前に、カードトレイをしっかりと取り付け、完全に装着している状態にしてください。
  微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水周り、浴室、強い雨の中では使用しないでください。
- 次のような、常温の水以外の液体などで濡らさないでください。
  - 石けん／洗剤／入浴剤
  - 海水
  - プール
  - 温泉
- 本端末に強い衝撃を与えたりして変形させないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。

カードトレイの取り外しかた

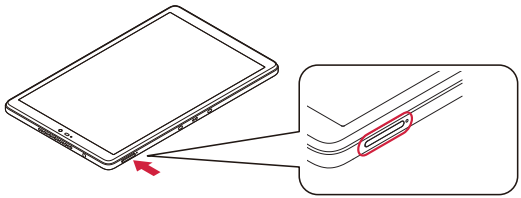
カードスロットピンをカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込み（❶）、カードトレイを引き出します（❷）。



カードトレイの取り付けかた

カードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカードトレイにすき間がないことを確認します。

- 取り付け後は、本端末とカードトレイにすき間がないことを確認してください。



注意事項

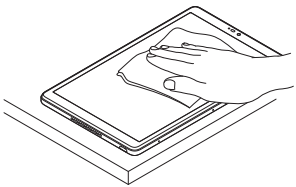
- カードトレイがしっかりと取り付けられていない状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- アダプタや充電スタンドは防水性能を有しておりません。
- サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  スピーカーやマイクの穴などに砂が入り、音が小さくなるおそれがあります。
  水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合

があります。
カードトレイに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- スピーカーやマイクなどを綿棒や先の尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。充電端子、USB Type-C接続端子がショートするおそれがあります。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スピーカーやマイクなどに水滴を残さないでください。動作不良となったり、衣服やかばんを濡らしてしまうことがあります。このような場合は、乾いた清潔な布などで拭き取ってください。
- 本端末が水に濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
- 充電端子、USB Type-C接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどにより、故障・やけど・火災の原因となります。
- 湿気の多い場所に長時間放置しないでください。
- 寒い屋外から暖かい部屋などに急に本端末を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

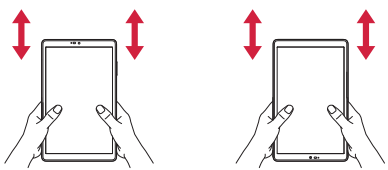
本端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 本端末に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取る



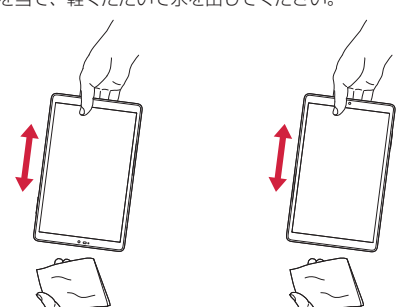
2 本端末をしっかり持ち、水滴が飛ばなくなるまで振る

- 上下左右の向きを変えて、水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



3 本端末内部より出てきた水分を、乾いたタオル・布などでよく拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させる

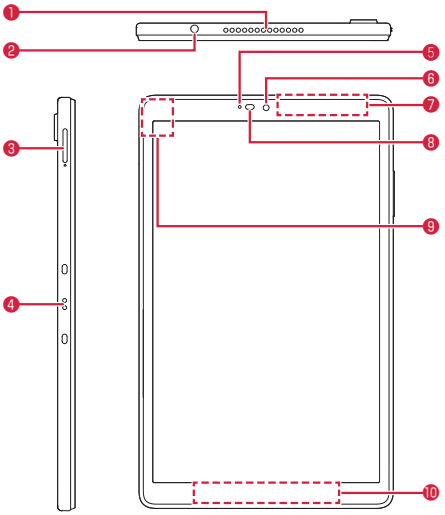
充電のときは

アダプタや充電スタンドは防水性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

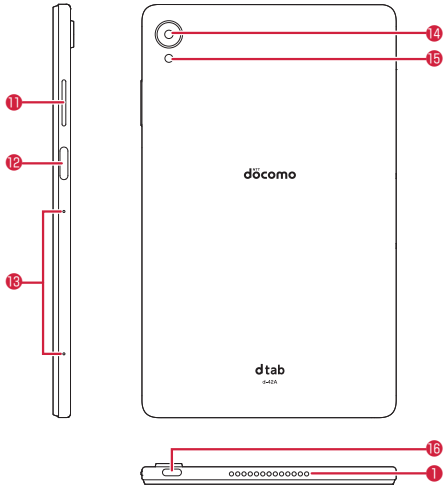
- 本端末が濡れていないか確認してください。水に濡れている場合は乾いた清潔な布などで拭き取ってください。
- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 本端末またはアダプタや充電スタンドが濡れている状態では絶対に接続しないでください。本端末は防水／防塵性能を有しておりますが、濡れた状態で接続すると、本端末や充電端子、USB Type-C接続端子に付着した液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や異物により、感電や回路がショートして、故障・やけど・火災の原因となります。
- 濡れた手でアダプタや充電スタンドに触れないでください。感電の原因となります。
- アダプタや充電スタンドは水のかからない場所で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



❶ **スピーカー**
❷ **イヤホンジャック**
❸ **カードトレイ**
microSDカードの取り付け／取り外しに使用します（P.27「microSDカードの取り付け／取り外し」）。
❹ **充電端子**
充電時などに使用します。充電スタンドに対応しています（P.31「充電スタンドを使って充電する」）。
❺ **通知LED**
点灯／点滅してお知らせします（P.43「通知LED」）。
❻ **フロントカメラ**
自分撮りなどに使用します（P.73「カメラ」）。
❼ **メインアンテナ部**※1
❽ **照度センサー**※2
周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調節します（P.106「明るさの自動調節」）。
❾ **GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部**※1
❿ **サブアンテナ部**※1



⓫ ▯／▯ **音量上／下キー**
各種音量の調節やマナーモードの設定、写真撮影などができます。

⓬ ▯ **電源キー／指紋センサー※2**
電源のON／OFFや、スリープモードの設定／解除に使用します。
1秒以上長押しすると「電源を切る」「再起動」「画面の保存」のメニューが表示されます。

⓭ **マイク**

⓮ **メインカメラ**
静止画や動画の撮影で使用します（P.73「カメラ」）。

⓯ **ライト**

⓰ **USB Type-C接続端子**
充電時などに使用します。
USB Power Deliveryに対応しています。

※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

microSDカード

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードや32GBまでのmicroSDHCカード、256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2022年10月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器でmicroSDXCカードを初期化する必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とmicroSDカードを利用してデータコピーを行う場合は、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、High Speedに対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、UHS-I（SDR104）に対応しています。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示や再生ができないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示や再生ができないことがあります。

microSDカードの取り付け／取り外し

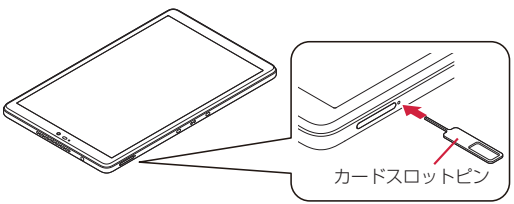
microSDカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。

- カードトレイの取り外しには、付属のカードスロットピン（試供品）をご使用ください。

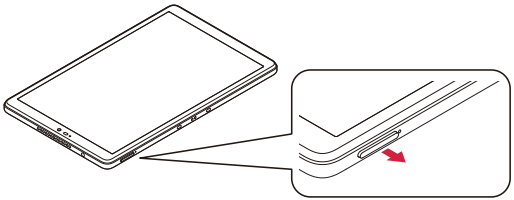
■microSDカードの取り付けかた

1 カードスロットピンをカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む

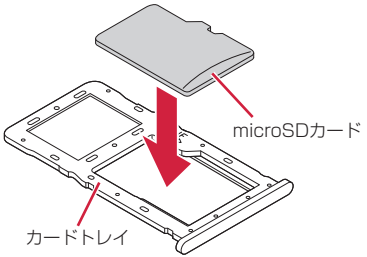
● カードトレイが押し出されます。



2 カードトレイを引き出す

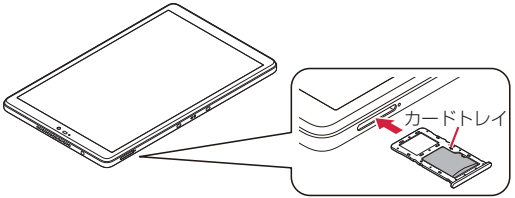


3 microSDカードの金属端子を下にして、カードトレイに取り付ける

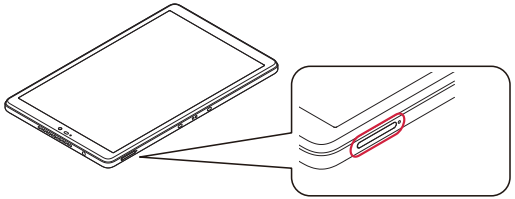


4 カードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。



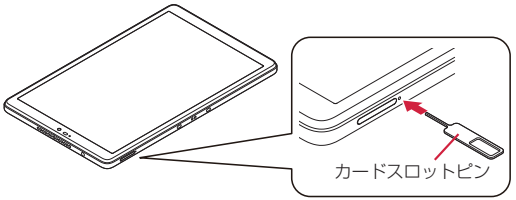
5 カードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカードトレイにすき間がないことを確認する



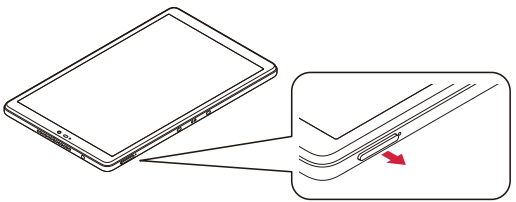
■microSDカードの取り外しかた

1 カードスロットピンをカードトレイの取り出しホールに差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む

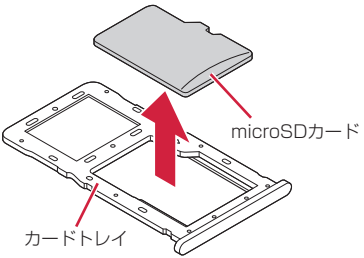
- カードトレイが押し出されます。



2 カードトレイを引き出す

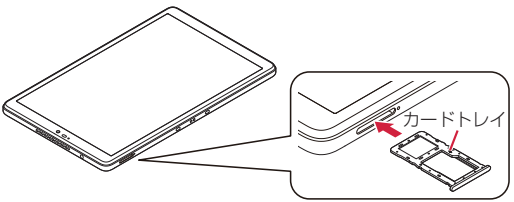


3 microSDカードをカードトレイから取り外す

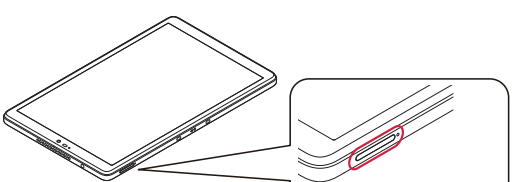


4 カードトレイを本端末に差し込む

- 矢印の方向に水平に差し込んでください。



5 カードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカードトレイにすき間がないことを確認する



・カードスロットピンを紛失した場合には、ペーパークリップでも代用できます。

充電

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

・アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
・充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
・電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
・充電時間や、十分に充電したときの使用可能時間については、「主な仕様」（P.145）をご参照ください。

充電について

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

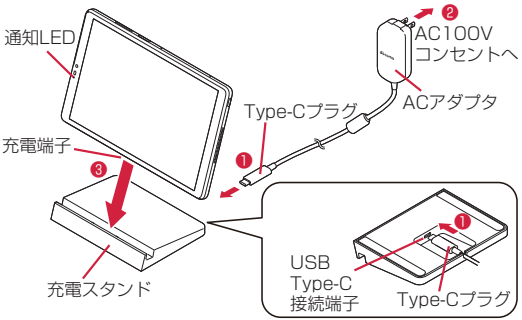
・本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

充電スタンドを使って充電する

充電スタンドとACアダプタ 07（別売）を使用して充電する方法を説明します。



1 充電スタンドのUSB Type-C接続端子にACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む(❶)

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(❷)

3 本端末を充電スタンドに取り付ける(❸)

- 本端末の向きに注意してください。
- 充電スタンドの充電端子ピンと、本端末の充電端子の位置を合わせるように取り付けてください。
- 充電が開始すると本端末の通知LEDが点灯します。

4 充電が完了したら、充電スタンドから本端末を取り外す

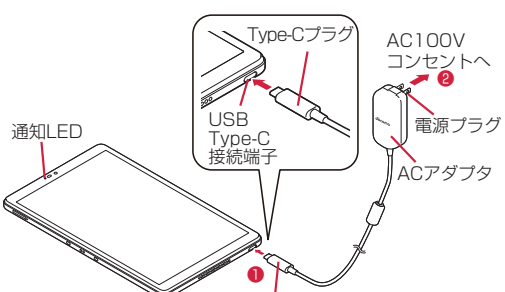
5 コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く

6 充電スタンドのUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く

- 充電スタンドを使って充電する場合、本端末のUSB Type-C接続端子にUSBデバイスを接続している状態では、充電が開始されません。USBデバイスを取り外してから充電してください。
- 本端末のUSB Type-C接続端子をUSBデバイスと接続しているときは、充電スタンドは本端末のスタンドとしてご利用いただけます。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 07（別売）を使用して充電する方法を説明します。



1 本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む(❶)

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(❷)

- 充電が開始すると本端末の通知LEDが点灯します。

3 充電が完了したら、コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く

4 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売）が必要です。取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ、USBケーブルA to Cの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ▯(電源キー)を3秒以上長押し

- 本端末が1回振動するまで長押ししてください。
- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行ってください（P.34「初期設定」）。

・電源を入れてからロック画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
・▯(電源キー）を押した後、本端末の反応がない場合は、充電が不十分な場合があります。充電完了後、再度操作を行ってください。

電源を切る

1 ▯(電源キー)を1秒以上長押し

- 本端末が1回振動するまで長押ししてください。

2 [電源を切る]

■▯(電源キー）を1秒以上長押ししたときのメニュー

電源が入っているときに▯(電源キー）を1秒以上長押しすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
電源を切る	P.33
再起動	本端末を再起動します。
画面の保存	P.38

スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりできます。

1 ▯(電源キー)を押す

- スリープモードを設定／解除できます。

・本端末を一定時間操作しなかった場合でも、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります（P.106「画面消灯」）。

画面ロックを解除する

1 ロック画面で[🔒]

- ロック画面のアイコンをタップしてカメラやmy daizを直接起動することもできます。
- 画面ロックの解除方法を設定している場合は、「🔒」をタップした後、設定した解除方法を入力します（P.112「画面ロックの解除方法を設定する」）。
- 指紋を登録している場合は、指紋認証で画面ロックを解除できます（P.113「指紋認証機能を設定する」）。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。

- 言語の選択
- Wi-Fiの設定
- SIM情報設定
- アプリとデータのコピー
- Google アカウントの設定（P.34「Google アカウントの設定をする」）
- Google サービス
- 画面ロックの設定
- Google アシスタント
- Google Pay
- ホーム画面の選択
- ドコモ初期設定
- その他の項目

■SIM情報設定を行う

1 SIM情報設定画面が表示されたら[同意する]

2 EIDの下4桁を入力→[OK]

- EIDは本端末が入っていた箱側面のラベルをご確認ください。

■ドコモサービスの初期設定を行う

1 ドコモ初期設定画面が表示されたら[次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 設定項目は次のとおりです。設定しない場合は「今は設定しない」をタップします。
  - ・dアカウント（P.35「dアカウントの設定をする」）
  - ・あんしん・便利
  - ・ドコモクラウド

Google アカウントの設定をする

Google アカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのアカウントです。本端末にGoogle アカウントを設定することで、Gmailを利用してメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]→[アカウント]→[アカウントを追加]

2 [Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- ホーム画面で［⋯］→［設定］→［アカウント］で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

dアカウントの設定をする

dアカウントとは、ドコモが提供するアプリやサービスを利用するためのID／パスワードです。dアカウントを使用することで、モバイルネットワークやWi-Fiなどの回線の種類や、スマートフォンやタブレット、パソコンなどの端末の種類を問わずに、多彩なサービスをより便利に利用できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]→[dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

基本操作

基本操作

タッチパネルの使いかた

本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

■タッチパネル利用時のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タップ／ダブルタップ

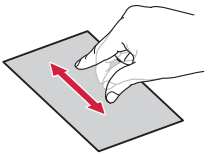
項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

■フリック

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。

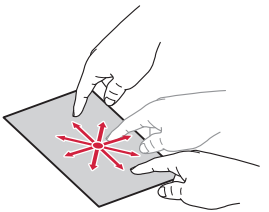
■ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像を拡大／縮小するときなどに使用します。



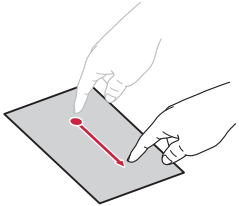
■スライド（スワイプ）

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。



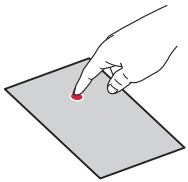
■ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。



■ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーなどに長く触れます。



- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

ナビゲーションについて

ディスプレイ下部に表示されるナビゲーションボタンは、本端末の共通操作を示します。

❶ ◀：**戻るボタン**
直前の画面表示に戻ります。

❷ ●：**ホームボタン**
ホーム画面に戻ります。
ロングタッチすると、Google アシスタントを起動できます。

❸ ■：**タスクマネージャーボタン**
最近使用したアプリの一覧を表示します（P.46「タスクマネージャー」）。

- 画面により表示されるナビゲーションボタンの背景色が異なります。本書では、ナビゲーションボタンで行う操作を、背景色が黒のナビゲーションボタンで説明しています。

ディスプレイの表示方向を変更する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 ステータスバーを2本の指で下にドラッグ

2 [自動回転]

- 「自動回転」をタップしてON／OFFを切り替えることができます。

- 機能やアプリによっては、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。
- 本機能がOFFのときに本端末の向きを変えると、「」が表示される場合があります。タップすると、手動で表示方向を切り替えることができます。

画面をキャプチャする

表示している画面を画像として保存することができます。

1 (電源キー)を1秒以上長押し

- 本端末が1回振動するまで長押ししてください。

2 [画面の保存]

- 「電源を切る」、「再起動」などのメニューは撮影されません。
- (電源キー）と(音量下キー）を同時に長押ししても、表示している画面を画像として保存することができます。

- 機能やアプリによっては、画面をキャプチャできない場合があります。

アプリの権限を設定する

本端末のアプリをはじめて起動したときに、機能や情報のアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。許可をすると本端末の機能や情報を利用できるようになります。

<例：「メモ」アプリをはじめて起動した場合>

1 ホーム画面で[]→[メモ]→[OK]

2 ［許可］／［許可しない］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- アプリや機能によっては、説明画面が表示される場合や確認画面が複数回表示される場合、表示が異なる場合があります。画面の指示に従って操作してください。
- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。
- ホーム画面で［⋯］→［設定］→［アプリと通知］→［XX個のアプリをすべて表示］→アプリを選択→［権限］をタップすると、権限の設定を変更できます。

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードや、音声による入力を使用します。
入力方法は次のとおりです。

入力方法	説明
Google音声入力	音声で文字を入力する場合に選択します。
iWnn IME	初期状態で設定されている入力方法です。

- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。
- 文字入力中に画面右下に表示される「⌨」をタップすると、入力方法を変更できます。

キーボードについて

iWnn IMEでは、次の3種類のキーボードを利用できます。

キーボードタイプ	説明
テンキーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 • 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタップして、文字を入力することもできます。
QWERTYキーボード	文字入力キーをタップすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
50音キーボード	50音順／アルファベット順に並んだキーをタップして入力します。50音キーボードには、「縦書き（右）」／「縦書き（左）」／「横書き」の3種類のレイアウトがあります。

テンキーボード

QWERTYキーボード

50音キーボード

❶ **変換候補**
変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

❷ **逆トグルキー**
テンキーボードでかな／英字をトグル入力した場合に、キーに割り当てられた文字を逆順に表示します。

❸ **カーソルキー**
変換範囲を変更します。
未確定の文字がないときは、カーソルを左右に移動します。

❹ **記号キー／英数カナキー／シフトキー**
「記号」：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
「英数カナ」：テンキーボードでかな入力時に、変換候補を英数カナに変更します。
「⇧」／「⇧」／「⇧」：QWERTYキーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
「⇧」／「⇧」：QWERTYキーボードで数字入力時に、入力できる記号を切り替えます。

❺ **入力モード切替キー**
入力モード（かな／英字／数字）を切り替えます。

❻ **大文字／小文字キー／シフトキー**
テンキーボードでかな／英字入力時、または50音キーボードでかな入力時に、入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
「⇧」／「⇧」／「⇧」：50音キーボード横書きで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。

❼ **削除キー**
カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❽ **スペースキー／変換キー**
「␣」：スペースを入力します。
「　　」：スペースを入力します。
QWERTYキーボードでかな入力時に、通常変換候補を表示します。
「変換」：テンキーボードまたは50音キーボードでかな入力時に、変換を行います。

❾ **改行キー／確定キー**
「↵」：改行します。
「確定」：文字を確定します。
アプリや入力中の項目によっては、「🔍」（検索）や「→」（次

へ)、「」(完了)、「」(実行)などが表示されます。

⑩ **設定キー**
iWnn IMEの設定画面を表示します。

⑪ **長音キー／アットマークキー／記号キー**
かな入力時に長音(ー)、英字入力時にアットマーク(@)を入力します。ロングタッチすると、記号一覧を表示します。

- 変換候補が表示されていないときは、キーボード上部のアイコンをタップして次の操作ができます。
「」:アイコンの表示を切り替えます。
「」:iWnn IMEの設定画面を表示します。設定画面の上部に表示されるアイコンをタップすると、表示するアイコンを入れ替えることができます。
「」:キーボードタイプを切り替えます。
「」:ユーザー辞書に単語を登録します。
「」:キーボードイメージを変更します。
「」:Google音声入力を起動し、音声で文字を入力します。
「」:上下にドラッグしてキーボードの表示範囲を変更します。キーボードをポップアップ表示中は、上下左右にドラッグしてキーボードを移動できます。
「」:キーボードをポップアップ表示します。ポップアップ表示中に「」をタップしてスライダーを左右にドラッグすると、キーボードの透過度を調整できます。「」をタップすると通常のキーボードに戻ります。
「」:任意の方向にドラッグして、キーボードのサイズを変更します。
- キーボードを非表示にするには、「」をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。

■キーボードタイプを変更する

1 キーボード表示中に[]→[キーボードタイプ]

2 [テンキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音キーボード 縦書き(右)]／[50音キーボード 縦書き(左)]／[50音キーボード 横書き]

- 画面の向きや入力モードごとにキーボードタイプを設定することもできます。キーボード表示中に[]→iWnn IMEの設定画面を左にフリック→[その他]→[表示]→[キーボードタイプ]をタップして設定します。

文字入力のしかた

■フリック入力を利用する

フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にフリックして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にフリックします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

<例：「め」を入力する場合>

1 「ま」のキーをタップしたまま、「め」が表示されている方向(右)にフリック

文字列の編集

入力した文字列を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 「●」／「●」をドラッグして文字列の範囲を選択

3 項目をタップ

項目	説明
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
共有	選択した文字列を他のアプリで利用できます。
すべて選択	入力した文字列をすべて選択します。
⋮	隠れている項目を表示します。

- 切り取り／コピーした文字列がある場合は、以下の操作で貼り付けることができます。
  - 文字が入力されていない場合：文字入力欄をロングタッチ→［貼り付け］
  - 文字が入力されている場合：挿入したい位置をタップ→［●］→［貼り付け］

文字入力の設定

1 ホーム画面で［⋯］→［設定］→［システム］

2 ［言語と入力］→［画面キーボード］→入力方法を選択

3 各項目を設定

通知LED

新着メッセージ（SMS）などの通知があるときや、充電しているときなどに通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

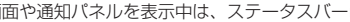
動作	説明
赤で点滅	低電量（未充電時）
赤で点灯	充電中
緑で点灯	満充電
青で点滅	通知受信
白で点滅	新着＋メッセージ

画面表示とアイコン

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、メッセージ（SMS）の受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコン、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

- ロック画面や通知パネルを表示中は、ステータスバーに通知アイコンは表示されません。



❶ 通知アイコン
新着メッセージ（SMS）などをお知らせします。

❷ ステータスアイコン
電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

■主な通知アイコン

アイコン	状態	参照先
	電池残量が少ない状態（10%以下）	−
	新着Gmailあり	P.69
	新着メッセージ（SMS）／新着＋メッセージあり	P.63
	新着エリアメールあり	P.69
	アラーム鳴動中／スヌーズ設定中／次のアラームあり	P.82
	エラー発生（同期不具合など）	−
	内部ストレージの空き容量低下	P.109
	Bluetooth通信でデータ受信通知あり	P.128
	データのアップロード	P.128
	データのダウンロード	P.128
	アップデート通知あり	P.78
	ソフトウェアアップデートの通知あり	P.140
	位置提供設定ON	P.115
	docomo LIVE UXなどの通知あり	P.48
	あんしん遠隔サポート起動中	P.144
	SIM情報未設定／SIM情報を無効に設定中	P.100

- 通知によっては、複数の異なる通知が1つの通知アイコンで表示される場合があります。通知内容は、通知パネルで通知を開くと確認できます。

■主なステータスアイコン

アイコン	状態	参照先
	電波状態（4段階）	−
4G+	4G（LTE）使用中※1 ※2	−
3G	3G使用中※1	−
	圏外	−
	国際ローミング中	P.132
	機内モード設定中	P.99
	Wi-Fiネットワーク接続中（4段階）※1 ※4	P.92
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中※4	P.93
	Wi-Fiテザリングが有効※4	P.98
	Bluetooth機器に接続中	P.126
	サイレントモードON	P.108
	マナーモード（バイブなし）設定中	P.108
	マナーモード（バイブあり）設定中	P.108
	アラーム設定中	P.82
	VPN接続中	P.99
	バッテリーセーバー起動中	P.105
	GPS測位中	P.80
	電池残量11～100%※3	−
	電池残量10%以下※3	−
	充電中※3	−

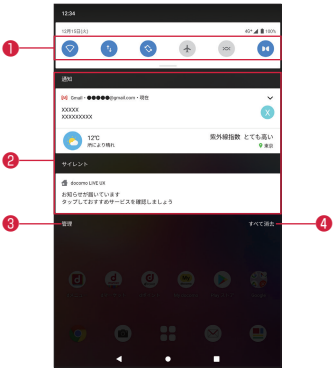
※1 データ通信中は↕が表示されます。
※2 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。
※3 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
※4 Wi-Fiの規格によりアイコンの右側に数字が表示されることがあります。

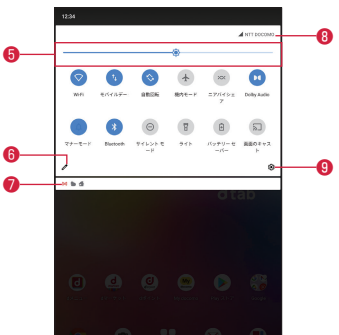
通知パネル

通知パネルを表示すると、通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。また、ショートカットをタップして、機能のON／OFF切り替えや設定ができます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

- 通知パネルが表示されます。
- ステータスバーを2本指で下にドラッグするか、通知パネルをさらに下にドラッグすると、機能ボタンの一覧が表示されます。





❶ **機能ボタン**
ショートカットをタップして、機能のON／OFF切り替えや設定ができます。ロングタッチすると、各機能の設定画面などを表示できます。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi機能のON／OFFを設定できます。
モバイルデータ	モバイルデータ通信のON／OFFを設定できます。
自動回転	P.38
機内モード	機内モードのON／OFFを設定できます。
Dolby Audio	Dolby Audioについて設定できます。
マナーモード(OFF)／マナーモード（バイブあり）／マナーモード（バイブなし）	マナーモード（バイブあり）／（バイブなし）を設定／解除できます。

❷ **通知詳細情報**
「会話」「通知」「サイレント」のカテゴリに分かれて表示されます。
通知をタップして詳細を確認したり、対応するアプリを起動して操作したりできます。左右にフリックすると削除できます(一部削除できない通知があります)。通知をロングタッチすると通知の設定を変更できます(一部変更できない通知があります)。

❸ **管理**
通知の表示や動作に関する設定をします。

❹ **すべて消去**
削除できる通知があるときに表示され、タップすると通知情報をすべて削除できます（一部削除できない通知があります)。

❺ **明るさ調整バー**
画面の明るさを調整します。

❻ **編集**
ショートカットの編集画面を表示して追加／並べ替え／削除ができます。

❼ **隠れている通知詳細情報**
隠れている通知詳細情報をアイコン表示します。

❽ **通信事業者名**
接続している通信事業者名が表示されます。

❾ **設定**
「設定」アプリを起動します。

・通知パネルを閉じるには、「◀」をタップするか、通知パネルを上にドラッグします。
・ショートカットの編集画面で［⋮］→［リセット］をタップすると、ショートカットを初期状態に戻すことができます。

タスクマネージャー

最近使用したアプリの一覧を表示して、アプリの起動／切り替え／終了ができます。

1 ［■］

- 最近使用したアプリの一覧がサムネイル表示されます。
- サムネイルをタップすると、アプリの起動／切り替えができます。ただし、アプリによっては、起動できない場合があります。

・サムネイルを上にフリックすると、サムネイルが削除され、アプリを終了できます。
・「すべてクリア」をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
・アプリアイコンをタップするとアプリ情報の確認や「分割画面」(P.46)、「アプリ固定」(P.112) が利用できます。
・アプリ固定を利用するには「アプリ固定」をONに設定します。
・アプリアイコンをタップ→［固定］をタップすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。アプリ固定を解除するには、「◀」と「■」を同時にロングタッチしてください。

分割画面

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 ［■］

2 アプリアイコンをタップ→［分割画面］

- 画面が上下に分割され、「■」の表示が「⊟」に変わります。選択したアプリが上側に配置され、下側にはアプリのサムネイルやホーム画面が表示されます。
アプリのサムネイルやホーム画面からアプリを起動すると、分割画面の下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。

❶ **セパレータ**
上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。分割画面は終了します。
上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

❷ **スクリーンショット**
タップすると下側に表示されているアプリの画面を保存できます。

- ご使用のアプリによっては、分割画面を利用できない場合があります。
- 機能やアプリによっては、スクリーンショットを利用できない場合があります。

音声エージェント

本端末のマイクを使って、音声による天気やニュースの検索、アラームの設定などの操作が可能です。本端末では、my daizやOK Google（Googleアシスタント）などの音声エージェントが利用できます。

- 音声エージェントを利用するには、あらかじめ設定などが必要です。詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。
- 次のような条件では、認識しにくい場合があります。
  - 本端末との距離が離れているとき
  - 反響が大きい場所
  - ノイズが大きい場所
  - 風が当たる場所（扇風機、エアコンなど）
  - テレビ／ラジオなど音声を発する機器の近く
  - 音楽再生中
- 話しかたによっては認識しにくい場合があります。
- my daizでは、約2m程度までのご利用が目安です。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。初期状態では、本端末に次のホームアプリが登録されています。

- 「docomo LIVE UX」について（P.48）
- 「シンプルメニュー」について（P.53）

1 ホーム画面で[⊞]→[マイホームスクリーン]

2 [docomo LIVE UX]／[シンプルメニュー]

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で［⊞］→［⋮］→［ヘルプ］→［docomo LIVE UX について］を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

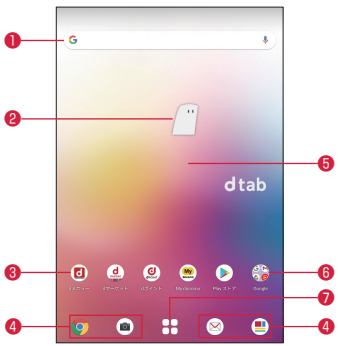
https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



❶ ウィジェット
ウィジェット（Google検索）を起動できます。

❷ マチキャラ
タップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

❸ **アプリアイコンショートカット**
タップすると、アプリを起動できます。
ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
「＝」が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
❹ **ドック**
ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
❺ **カスタマイズエリア**
アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
❻ **フォルダ**
複数のアプリアイコンなどが格納されています。
❼ **アプリ一覧ボタン**
すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ（P.51「おすすめアプリを利用」）も利用できます。

ホーム画面の管理

■アプリアイコンなどの移動

1 ホーム画面で移動するアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

■アプリアイコンを追加

1 ホーム画面で［⊞］

2 ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ

3 ［ホーム画面に追加］

- 同じアイコンを複数追加することも可能です。

■ウィジェットを追加

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 ［ウィジェット］

3 ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ→追加したい場所までドラッグ

■アプリアイコンやウィジェットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で削除するアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

- アイコンをロングタッチして任意の場所までドラッグすると、画面上部に「削除」が表示されます。

2 画面上部の「削除」までドラッグ

- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

■アプリのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ

- アプリアイコンをロングタッチして任意の場所までドラッグすると、画面上部に「アンインストール」が表示されます。
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。

2 画面上部の「アンインストール」までドラッグ

- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。

3 [OK]

- アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

■フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される「✓」をタップします。

■ホーム画面の設定

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 各項目を設定

項目	説明
通知ドット	アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON／OFFができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリのアイコンを追加するか、アプリ一覧だけに表示するか選択できます。 ※デフォルトではインストールしたアプリはホーム画面に配置されます。
ホーム設定アイコン	ホーム画面上の「⚙」のON／OFFができます。
壁紙設定	ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定	マチキャラのON／OFFや、キャラ変更等マチキャラに関する設定ができます。
おすすめアプリ設定	アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」の表示設定ができます。
my daiz NOW表示設定	ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。
マイマガジン起動設定	マイマガジンの上フリック起動のON／OFFができます。
ホームの使い方	ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ	ホーム画面の詳しい使い方を確認できます。

アプリ一覧画面

「⋯」をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。

❶ アプリ検索バー
タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

❷ あなたにおすすめ
おすすめアプリから、厳選したアプリを最大4つ表示します。

❸ すべてのアプリ
端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タップするとアプリが起動します。

❹ もっと見る
おすすめアプリ（P.51「おすすめアプリを利用」）へ遷移します。

❺ プルダウン
アプリ一覧上のすべてのアプリを、つかった順、アプリ名順、インストール順に並べ替えができます。

・インストールされているアプリについては、「アプリ一覧」（P.54）をご参照ください。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で[⋯]

2 [もっと見る]

● 初めて使用するときは「おすすめアプリ」をタップすると利用の確認画面が表示され、「おすすめアプリを見る」をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で「おすすめアプリ一覧へ」をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

3 利用するアプリやサービスを選択

● アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

・おすすめアプリ一覧画面で［⚙］→各設定の［◯］／［●］をタップすると、設定をON／OFFに切り替えることができます。
・おすすめアプリの許諾に同意した状態で、ホーム画面で「⊞」をタップすると、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されるようになります。おすすめアプリ一覧をもっと見たい場合は「もっと見る」をタップします。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

■記事の見かた

1 ホーム画面を上にフリック

- 表示するジャンル選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択し「OK」をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

- 「⚙」をタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

■表示ジャンル設定

1 ホーム画面を上にフリック

2 ［⚙］→［表示ジャンル設定］

- チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上の「⇅」をタップするとジャンルの並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

1 ホーム画面を右にフリック

- 上下にフリックすると、表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

■表示設定

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 「my daiz NOW表示設定」の「 」／「 」をタップしてON／OFFを切り替える

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で[ ]→[⋮]

2 [アプリ情報]

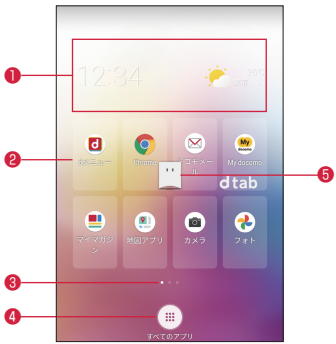
- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「アップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

シンプルメニュー

「シンプルメニュー」に設定すると、ホーム画面のレイアウトがシンプルになり、アイコンや文字が大きく表示されます。

・標準のホーム画面については、「docomo LIVE UX」（P.48）をご参照ください。

ホーム画面（シンプルメニュー）の見かた



❶ ウィジェット

ウィジェット（時計／天気予報）を起動できます。

「天気予報」ウィジェットを利用するには、「位置情報」（P.110）をONにする必要があります。

❷ **アプリアイコンショートカット**
タップすると、アプリを起動できます。
❸ **インジケーター**
ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
❹ **すべてのアプリボタン**
すべてのアプリを表示します。
❺ **マチキャラ**
タップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

シンプルメニューの管理

■アプリアイコンやウィジェットの移動

1 ホーム画面をロングタッチ

2 移動するアイコンやウィジェットをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

4 [終了]

■アプリアイコンやウィジェットを追加

1 ホーム画面をロングタッチ

2 [アプリの追加]／[ウィジェットの追加]

3 追加するアプリアイコン／ウィジェットを選択

- 同じウィジェットを複数追加することも可能です。

4 [終了]

■アプリアイコンやウィジェットをホーム画面から削除

1 ホーム画面をロングタッチ

2 削除するアイコンやウィジェットの[−]

3 [終了]

- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要	参照先
	あんしんセキュリティ	無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。	−
	カメラ	写真や動画を撮影できます。	P.73
	カレンダー	予定やリマインダーなどを登録して管理できます。	−
	キッズモード	お子様向けのモードです。使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。 また、お子様の指紋を登録しておけば、ロック画面から直接キッズモードを起動することができます。	P.88
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。	P.85
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。	P.87

アイコン	アプリ	概要	参照先
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。	−
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。 dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。	P.63
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。	P.59
	ドライブ	Google ドライブを利用できます。	−
	フォト	静止画や動画を管理できます。	P.77
	マイホームスクリーン	ホームアプリを切り替えます。	P.48
	マイマガジン	マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです。	P.52

アイコン	アプリ	概要	参照先
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogle マップのサービスを利用できます。	P.80
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。	P.86
	ローソン	ローソンの公式アプリです。タブレットが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。	−
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.144
	災害用キット	「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。	P.69
	時計	アラームなどを利用できます。	P.82

アイコン	アプリ	概要	参照先
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	−
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.91
	地図アプリ	車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要です。	−
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。	−
	Chrome	ウェブブラウザアプリです。	P.70
	dキッズ	お子様が興味や好奇心を持つ「学べる」「遊べる」「楽しめる」知育コンテンツが満載です。お子様の使い過ぎ防止など、安心して利用できる機能も搭載しています。	−

アイコン	アプリ	概要	参照先
	dフォト	スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。	−
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。	−
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。	P.78
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。	P.78
	Dolby Audio	Dolby Audioを利用して音の設定を変更します。	−
	Duo	ビデオ通話を利用します。	−
	Files	本体メモリやmicroSDカードのデータを管理できます。	−

アイコン	アプリ	概要	参照先
	FMラジオ	FMラジオを聴くことができます。	P.79
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。	P.69
	Google	キーワードからウェブサイトを検索できます。	−
	Google Play ムービー&TV	Google Playで映画などをレンタル・購入できます。	−
	Keep メモ	メモを作成、編集、共有できます。	−
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。 天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。	−
	My docomo	お客さまのご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認や各種お手続き・お申し込みがオンラインで行えます。	−
	Play ストア	Google Playにアクセスして新しいアプリのダウンロード・購入ができます。	P.78

アイコン	アプリ	概要	参照先
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。	P.79
	YT Music	音楽データを再生します。	−
	＋メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。	P.63

- アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- プリインストールされているアプリには、一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.78）などから再度ダウンロードできる場合があります。

電話帳

電話帳

「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなど連絡先に関するさまざまな情報を管理できます。

連絡先を登録する

1 ホーム画面で[⋯]→[ドコモ電話帳]

- 連絡先画面が表示されます。
- クラウド機能の利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

2 [＋]→登録するアカウントを選択

3 各項目を設定

- 「その他の項目」をタップすると、住所やメモなどの情報を追加できます。

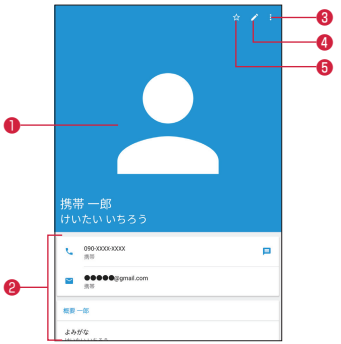
4 [保存]

連絡先を利用する

1 ホーム画面で[⋯]→[ドコモ電話帳]

❶ メニュー
❷ 連絡先の画像
❸ 連絡先に登録された名前
❹ 検索
❺ 登録

2 表示する連絡先を選択



❶ 連絡先の画像

❷ 登録内容

登録内容を確認／利用できます。

「💬」をタップすると、SMSを作成できます。

メールアドレスをタップすると、メールを作成できます。

❸ メニュー

メニューを表示します（P.60「メニューを利用する」）。

❹ 編集

❺ お気に入り

タップすると、お気に入りへの登録／解除ができます。

■メニューを利用する

「⋮」をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
統合／統合された連絡先を表示	連絡先を統合／分割します。
削除	表示している連絡先を削除します。
共有	表示している連絡先を、Bluetooth通信やメールなどを使って共有します。
ショートカットを作成	ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。

ラベル（グループ）を利用する

■ラベル（グループ）を追加する

1 ホーム画面で[⋯]→[ドコモ電話帳]

2 [▤]→[ラベルを作成]

- Google アカウントなどを設定している場合は、ラベル（グループ）を作成するアカウントを選択します。

3 ラベル(グループ)名を入力→[OK]

■ラベル（グループ）に連絡先を追加する

1 ホーム画面で[⋯]→[ドコモ電話帳]

2 [▤]→連絡先を追加したいラベル(グループ)名を選択

3 [ ]

4 連絡先を選択

■ラベル（グループ）名を変更する

1 ホーム画面で[ ]→[ドコモ電話帳]

2 [ ]→変更したいラベル(グループ)名を選択

3 [ ]→[ラベル名を変更]

4 ラベル(グループ)名を変更→[OK]

■ラベル（グループ）を削除する

1 ホーム画面で[ ]→[ドコモ電話帳]

2 [ ]→削除したいラベル(グループ)名を選択

3 [ ]→[ラベルを削除]

- 確認画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。

■ラベル（グループ）から連絡先を削除する

1 ホーム画面で[ ]→[ドコモ電話帳]

2 [ ]→連絡先を削除したいラベル(グループ)名を選択

3 [ ]→[連絡先を削除]

4 [ ]

自分のプロフィールを登録する

1 ホーム画面で[ ]→[ドコモ電話帳]

2 [ ]→[設定]→[ユーザー情報]

3 [ ]

4 各項目を設定

5 [保存]

電話帳を設定する

1 ホーム画面で[ ]→[ドコモ電話帳]

2 [ ]→[設定]

項目	説明
ユーザー情報	P.61
クラウドメニュー	クラウドとの同期について、操作や設定を行います。
dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。

項目	説明
海外利用設定	クラウドとの同期や設定など、通信を伴う機能を海外でも利用するかどうかを設定します。
利用状況レポート設定	ドコモ電話帳の機能向上のために、アプリ利用状況を収集して情報を送信するかどうかを設定します。 • クラウドの利用開始と連動して「ON」になります。情報を送信しない場合は、「OFF」に設定してください。
アカウント	P.116
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
表示する連絡先	電話帳に表示する連絡先について設定します。
フリガナ（名前）	連絡先を登録する際の、フリガナ欄の表示について設定します。
インポート	P.62
エクスポート	P.62

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をmicroSDカードからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[ドコモ電話帳]

2 [≡]→[設定]→[インポート]／[エクスポート]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

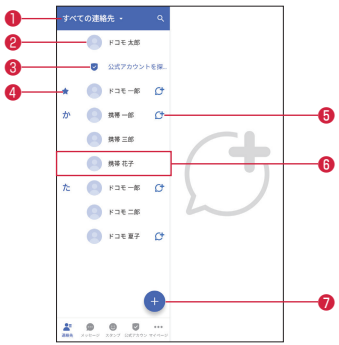
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で［+メッセージ］→［マイページ］→［ヘルプ］→［使い方ガイド］を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[+メッセージ]

- 画面下部のメニューより「連絡先」をタップすると連絡先一覧画面が、「メッセージ」をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面

メッセージ一覧画面

❶ **切替タブ**
タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（「」のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

❷ **マイプロフィール**
お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

❸ **公式アカウントを探す**
タップすると公式アカウントストアが表示されます。

❹ **お気に入りの連絡先**
お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

❺
＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

❻ **連絡先**
タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

❼
タップすることで連絡先を追加できます。

❽ **プロフィール画像**
相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

❾ **メッセージ**
タップすると「メッセージ」画面を表示することができます。

❿ **公式アカウント**
企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（▢）で表示されます。

⓫
サブメニューを表示します。
「すべて既読」：未読メッセージをすべて既読にします。
「メッセージの並べ替え」：メッセージの並べ替えを行います。

⓬
ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

⓭
新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→[＋]→[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]

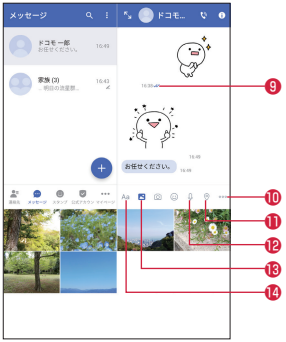
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者（連絡先にマークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「名前や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、「OK」をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップして文字を入力→[▶]

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



❶
サブメニューを表示します。
連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

❷
電話アプリが起動し、発信できます。
本端末では利用できません。

❸
画面右側のメッセージ一覧を全画面で表示します。

❹
写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

❺
タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

❻ **メッセージ入力欄**
メッセージを入力することができます。

❼
スタンプ選択画面へ切り替えます。

❽
入力したメッセージを送信します。

❾ **メッセージの配信状態**
✓✓：相手がメッセージを閲覧済み
・送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がONの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
✓：相手が端末にメッセージを受信済み
アイコン表示なし：サーバにメッセージを送信済み
✕：メッセージ送信に失敗

❿
連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

⓫
地図画面へ切り替えます。

⓬
音声録音画面へ切り替えます。

⓭
画像選択画面へ切り替えます。

⓮ Aa
テキスト入力画面へ切り替えます。

ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「＃」または「＊」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定をONに設定していただく必要があります（初期設定はOFFに設定されています）。また、端末のデータローミングの設定をONにしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→読みたいメッセージのスレッドを選択

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」（P.65）をご参照ください。

メッセージを転送する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択

3 転送するメッセージをロングタッチ→[➡]

4 宛先を選択し、メッセージを入力→[▶]

メッセージを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択

3 削除するメッセージをロングタッチ→[🗑]→[削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。

● 画像選択時等、「🗑」が表示されない場合があります。その場合は、［⋮］→［削除］→［削除］の順に操作してください。

スレッドを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→削除するスレッドをロングタッチ

3 [🗑]→[削除]

● グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[マイページ]→[設定]

項目	説明
メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引き継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[公式アカウント]

3 「公式アカウントストア」画面で利用したいアカウントをタップ

4 [利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します]のチェックボックスをタップ

5 [利用する]

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。
- Google アカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailの詳細については、スレッド一覧画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてください。

Gmailを確認する

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

2 スレッド一覧画面で確認したいスレッドをタップ
- スレッドの内容が表示されます。

Gmailを送信する

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

2 [作成]

3 「To」欄に宛先を入力
- Cc／Bccを追加するには、「∨」をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力

5 「メールを作成」欄に本文を入力
- ファイルを添付するには［📎］→［ファイルを添付］をタップします。

6 [▷]

Gmailを更新する

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

2 スレッド一覧画面でスレッド一覧を下にフリック
- 本端末のGmailアプリとEメールアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。
- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、3Gエリアにおいてテザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。
・専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■受信したエリアメールをあとで確認する

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール受信履歴]

2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

■エリアメールを削除する

・削除したエリアメールは元には戻せません。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール受信履歴]

2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ

3 [削除]→[削除]

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、ウェブサイトを閲覧できます。
・ウェブサイトによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブサイトを表示する

1 ホーム画面で[◎]

- Chrome画面が表示されます。

2 画面上部のアドレス入力欄をタップ

- アドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にスライド（スワイプ）すると表示されます。

3 ウェブサイトのアドレスまたは検索する語句を入力

- アドレス入力欄に「🎤」が表示されているときは、タップすると検索する語句を音声で入力できます。
- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブサイトの候補が表示されます。

4 候補を選択／キーボードの[→]

■新しいタブを追加する

複数のタブでウェブサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[＋]

■シークレットタブを開く

シークレットモードでは閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[⋮]

2 [新しいシークレット タブ]

- シークレットタブ表示中はステータスバーに「 」が表示されます。
- シークレットタブ使用中は「 」／「」をタップすると、シークレットモードと通常のモードを切り替えることができます。

■タブを閉じる

1 Chrome画面で閉じるタブの[×]

ブックマーク／履歴を管理する

■ウェブサイトをブックマークする

1 Chrome画面でブックマークするウェブサイトを表示

2 [☆]

■ブックマーク／履歴を開く

1 Chrome画面で[⋮]→[ブックマーク]／[履歴]

2 表示したいブックマーク／履歴をタップ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[⋮]→[設定]

項目	説明
同期を有効にする	Chromeにログインし、同期などについて設定します。
Google のサービス	同期設定や Google サービスを設定します。
検索エンジン	検索エンジンを設定します。
パスワード	ウェブサイトに入力したパスワードを保存するかどうかを設定します。
お支払い方法	お支払い方法の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用するクレジットカード情報を設定します。
住所やその他の情報	住所などの情報の自動入力を利用するかどうかや、自動入力時に利用する住所や名前、電話番号、メールアドレスなどの情報を保存します。
プライバシーとセキュリティ	お支払い方法へのアクセスやページのプリロードなどを設定したり、閲覧履歴データを削除したりします。
安全確認	データ侵害や安全ではないウェブサイトなどの脅威から保護できているかどうかを確認します。
通知	Chromeの通知方法を設定します。
テーマ	Chromeのテーマを設定します。
トップページ	Chromeのホームページを設定します。

項目	説明
ユーザー補助機能	文字のサイズやズームなどを設定します。
サイトの設定	CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。
言語	設定した言語でウェブサイトのテキストを表示します。 • ウェブサイトによっては設定した言語で表示されない場合があります。
ライトモード	データの使用量を抑えてページの読み込みを高速化するかどうかを設定します。
ダウンロード	ダウンロード時の保存場所などを設定します。
Chrome について	Chromeのバージョンなどを表示します。

カメラ／フォト

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、画像が不鮮明になる場合があります。
- 本端末を日の当たるところや高温のところに放置すると、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末を動かすと、画像が乱れる原因になります。撮影した静止画がブレてしまう場合、本端末をしっかりと支えてから、再度撮影してください。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 撮影中は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行うと、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- 電池の消費を抑えるため、2分間操作しなかったときはカメラが自動的に終了し、ホーム画面に戻ります。引き続きカメラを利用したい場合は、再度カメラのアイコンをタップしてください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。

著作権・肖像権について

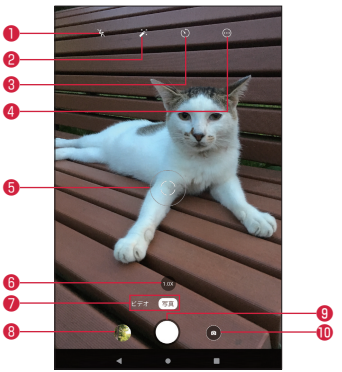
- お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
- お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。
- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラを起動する

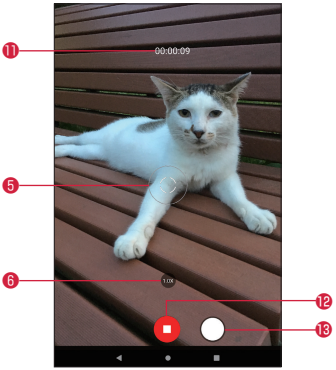
1 ホーム画面で[📷]

- 撮影画面が表示されます。

■撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影中画面

❶ **フラッシュの設定**
「⚡」：周囲の明るさに応じて自動でフラッシュが発光します。
「⚡」：フラッシュが強制的に発光します。
「⚡」：フラッシュは発光しません。
「🔦」：ライトが点灯し続けます。

❷ **フィルターの設定**
画面下部に表示されるサンプルをタップしてフィルターを切り替えます。

❸ **セルフタイマーの設定**
「3」：3秒に設定されます。
「7」：7秒に設定されます。

「⑩」：10秒に設定されます。

❹ **メニュー**
「#」／「米」：タップするたびにグリッド線の表示／非表示が切り替わります。
「▯」：タップするたびに縦横比が「16:10」／「4:3」／「1:1」に切り替わります。
「⚙」：カメラの設定画面が表示されます。

❺ **フォーカス枠**
タップしたところにピントが合います。

❻ **ズーム倍率の設定**
ズーム倍率は、画面をピンチイン／ピンチアウトすることでも設定できます。

❼ **静止画撮影／動画撮影の切り替え**
「写真」／「ビデオ」をタップすると、静止画撮影画面／動画撮影画面が表示されます。

❽ **前回撮影した静止画／動画のサムネイル**

❾ **シャッターボタン**

❿ **フロントカメラ／メインカメラ切り替え**

⓫ **動画撮影時間**

⓬ **動画撮影の開始／停止ボタン**

⓭ **動画撮影中の静止画撮影ボタン**

静止画の撮影

1 ホーム画面で[📷]

2 [写真]

3 被写体を画面に表示

4 [◯]

- シャッター音が鳴り、静止画が保存されます。
- ▯／▯（音量上／下キー）を押しても、静止画を撮影できます。
- 「◯」をロングタッチすると、静止画を連続撮影（最大で20枚）できます。

・撮影した静止画がブレてしまう場合、本端末をしっかりと支えてから、再度撮影してください。
・静止画の撮影可能枚数は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

動画の撮影

1 ホーム画面で[📷]

2 [ビデオ]

3 被写体を画面に表示

4 [●]

- 撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。
- ▯／▯（音量上／下キー）を押しても、動画の撮影を開始できます。

5 [◉]

- 撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。
- ▯／▯（音量上／下キー）を押しても、動画の撮影を終了できます。

・動画の撮影可能時間は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

カメラの設定

1 ホーム画面で[📷]

2 [⚙]→[📷]

項目	説明
明るさを最大にする	「明るさのレベル」(P.106) や「明るさの自動調節」(P.106)の設定に関わらず、撮影画面表示中は明るさのレベルを100%にするかどうかを設定します。
高速フォーカスカメラ	画面をタップしてフォーカスしたとき、さらに画面をタップして撮影するかどうかを設定します。
カメラのフローティングボタン	シャッターボタンを追加でもう1つ表示させるかどうかを設定します。 追加されたシャッターボタンはドラッグして移動させることができます。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、自動で白とび／黒つぶれを軽減して撮影するかどうかを設定します。
前面カメラのビデオ画質	フロントカメラの動画の画質を設定します。
背面カメラのビデオ画質	メインカメラの動画の画質を設定します。
カウントダウンアラート	セルフタイマーのカウントダウン時に効果音をつけるかどうかを設定します。
位置データ	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ストレージ	撮影した静止画／動画の保存先を設定します。
デフォルト設定を復元	カメラの設定を初期状態にします。

フォト

静止画や動画を表示、編集、管理できます。

静止画／動画を確認する

1 ホーム画面で[フォト]

- フォト画面が表示されます。

2 確認したい静止画／動画をタップ

- 静止画／動画が表示／再生されます。

静止画／動画を削除する

■静止画／動画をゴミ箱へ移動する

ゴミ箱に移動した静止画／動画は一定時間経過すると削除されます。

1 フォト画面で削除したい静止画／動画をロングタッチ

- 複数の静止画／動画を選択する場合は、続けてほかの静止画／動画をタップします。

2 [🗑]

3 [ゴミ箱に移動]

■ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ライブラリ]→[ゴミ箱]

2 [⋮]→[ゴミ箱を空にする]→[完全に削除]

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください（P.44「主なステータスアイコン」）。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html

Playストア

Google Playで公開されているアプリを本端末にインストールして利用することができます。
Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（P.34「Google アカウントの設定をする」）。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で[Play ストア]

- Play ストア画面が表示されます。

2 アプリを検索し、内容を確認してインストールを行う

アプリをアンインストールする

1 Play ストア画面でアカウントのアイコンをタップ→[アプリとデバイスの管理]→[管理]→[インストール済み]

2 アンインストールしたいアプリをタップ→[アンインストール]→[アンインストール]

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによっては、自動的に通信を行うものがあります。通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行されるものがあります。
- 有料アプリの場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。詳しくはPlayストア画面でアカウントのアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］で、返金や払い戻しについてご確認ください。
- Google Playの詳細については、Playストア画面でアカウントのアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］をご確認ください。

ラジオ

FMラジオを聴くことができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[FMラジオ]

2 「◀」／「▶」をタップして選局

- ラジオを使用するときは市販の有線イヤホンマイクを接続してください。有線イヤホンマイクをアンテナの代わりに使用します。

YouTube

世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。

1 ホーム画面で[Google]→[YouTube]

- YouTube画面が表示されます。

2 動画を検索→再生する動画をタップ

- 動画が再生されます。

GPS／ナビ

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、位置情報へのアクセスを許可する必要があります。

1 **ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]**

2 **[位置情報]**

3 **「位置情報の使用」の「○」をタップしてONにする**

- 確認画面が表示された場合は画面の指示に従って操作してください。

Google マップを利用する

現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogle マップのサービスを利用できます。

- Google マップを利用するには、ネットワークへの接続が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

1 **ホーム画面で[Google]→[マップ]**

- マップ画面が表示されます。
- アイコンをタップすると、次の操作ができます。

アイコン	説明
◉	マップのメニューを表示します。利用状況やエリアによって表示される項目が異なります。
◈	地図の種類や交通状況などの詳細情報を表示できます。
🎤	音声で地図を検索できます。

アイコン	説明
◎	現在地周辺の地図を表示できます。現在地を表示している場合はアイコンが「◎」表示になります。
経路	目的地までの経路を表示します（P.81「経路を調べる」）。

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - スライド（スワイプ）：地図をスクロールして他のエリアを表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
  - ダブルタップ：地図を拡大表示
  - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
  - 2本指で上方向にスライド（スワイプ）：地図を傾けて3D表示
  - 2本指で回転させる：地図を回転表示
- 地図をロングタッチすると情報画面が表示され、詳細情報の確認やスター付きの場所への登録などの操作ができます。

■経路を調べる

出発地と目的地を入力して、経路を検索できます。

1 「ここで検索」に目的地を入力

2 [経路]

3 交通手段(「🚗」／「🚃」／「🚶」／「🚲」)をタップ

4 「現在地」に出発地を入力

- 「⇅」をタップすると、現在地と目的地を入れ替えられます。

■ナビゲーションを利用する

経路の検索結果を表示後に、ナビゲーションを利用すると、目的地までの詳しい道順をナビゲートしてくれます。

1 経路の検索結果一覧から、任意の経路をタップ

2 [ナビ開始]

- ナビゲーションが開始されます。

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラームを設定する

1 ホーム画面で[⋯]→[時計]

2 [アラーム]

- アラーム設定画面が表示されます。

3 [+]

4 時刻を設定→[OK]

- アラームが設定されます。

■アラームの詳細を設定する

アラーム設定画面で「∨」をタップすると、アラームの詳細を設定できます。

項目	説明
時刻	アラーム時刻を設定します。数字をタップして選択します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
（サウンド）	アラーム音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションを設定します。
ラベル	アラーム鳴動時に表示するメッセージを入力します。
Google アシスタントのルーティン	アラーム解除時のGoogle アシスタントの動作を設定します。
解除※	アラームを解除します。
削除	アラームを削除します。

※アラームが鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示されます。

- 設定済みのアラームをタップすると、設定内容を編集できます。
- アラーム設定画面で設定した各アラームの「ON」／「OFF」をタップすると、アラームのON／OFFを切り替えられます。
- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

■アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレーションでお知らせします。

1 アラームが鳴っているときに「⏰」を「🚫」までスライド（スワイプ）

- スヌーズを利用する場合は、「⏰」を「💤」までスライド（スワイプ）します。

- 画面の点灯時（ロック画面を除く）は画面上部に表示される「解除」／「スヌーズ」をタップしてアラームを止めることができます。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時や所在地との時差などを表示できます。

1 ホーム画面で[⋯]→[時計]

2 [時計]→[◎]

3 時刻を表示したい都市名を入力

4 一覧から都市名を選択

- 選択した都市の時刻が表示されます。
- 都市を追加するには繰り返し同様の操作を行います。

- 追加した都市をロングタッチ→「🗑」にドラッグすると、都市を削除できます。
- サマータイム期間中の時差は、表示される時差とは異なる場合があります。

タイマーを利用する

1 ホーム画面で[⋯]→[時計]

2 [タイマー]

- タイマー入力画面が表示されます。

3 数字をタップして時間を設定

4 [▷]

- タイマー画面が表示されます。
- 一時停止する場合は「⏸」、続行する場合は「▷」、リセットする場合は「リセット」をタップします。
- 「+1:00」をタップすると、時間を1分追加できます。
- 「ラベル」をタップすると、タイマーの名称を設定できます。

5 タイマー音を止めるには[□]

- 画面ロック中は「■」をタップします。
- 画面上部に表示される「停止」をタップしてもアラームを止められます。「1分追加」をタップするとタイマーが1分延長されます。

■タイマーを追加する

1 タイマー画面で[タイマーを追加]

- 追加のタイマーを設定できます。
- 画面を上下にスライド（スワイプ）してタイマーを切り替えできます。

■タイマーを削除する

1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[時計]

2 [ストップウォッチ]

3 [▶]

- 「ラップ」をタップすると、ラップタイム／スプリットタイムを計測します。

4 ストップウォッチを止めるには[⏸]

- 再開する場合は「▶」をタップします。
- 「リセット」をタップすると、計測結果を消去します。
- 「共有」をタップすると、計測結果を共有できます。

おやすみ時間を利用する

睡眠前に心地よい音楽を再生するなど、快適な睡眠をサポートするための機能が利用できます。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[時計]

2 [おやすみ時間]

- はじめて起動したときは、通常の目覚ましアラームやおやすみ時間とデバイスのミュートの設定を行います。

項目	説明
スケジュール	おやすみ時間や起床時間の設定ができます。
最近のアクティビティを表示	本端末の利用時間を管理して、ベッドで過ごしたおおよその時間を確認できます。
安眠サウンドを聴く	優しく眠りに誘う、心地よい音楽を再生できます。停止までの時間も設定できます。
今後の予定を確認	カレンダーアプリに登録されている翌日のスケジュールを確認できます。

天気予報

ホーム画面に「天気予報」ウィジェットを追加すると、「天気予報」を利用できます。また、ホーム画面で現在地の天気予報の確認ができるようになります。
ウィジェットの追加方法については、「ウィジェットを追加」（P.49）をご参照ください。
「天気予報」を利用するには、「位置情報」（P.110）をONにする必要があります。

天気予報を設定する

1 ホーム画面に追加した「天気予報」ウィジェットをタップ

- あらかじめ「位置情報」（P.110）をONにしておいてください。
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

・初回起動以降は、［ ］→［+］→都市名を入力→追加したい都市名をタップすると、天気予報を表示する都市を追加できます。
・［ ］→都市名をタップすると、タップした都市の天気予報を表示できます。

スケジュール

スケジュールを表示する

1 ホーム画面で[ ]→[スケジュール]

● スケジュール画面が表示されます。

2 [ ]→[月]／[週]／[日]

● カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の月や週、日を表示します。

■スケジュールを設定する

スケジュール画面で［ ］→［設定］をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
アラーム	アラームについて設定します。
起動画面	「スケジュール」アプリを起動したときに最初に表示される画面を設定します。
開始曜日	カレンダーの開始曜日を設定します。
誕生日表示設定	電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するかや表示する場合の色を設定します。
週間天気表示設定	一週間の天気をスケジュールに表示するかどうかを設定します。
クラウド設定	クラウドの利用について設定します。
海外利用設定	海外での通信を制限するかどうかを設定します。
祝日データ更新	最新の祝日データに更新します。
アプリ内データ全件削除	スケジュールやメモなど、アプリ内のすべてのデータを削除します。

・手順2で［ ］→［スケジュール一覧］をタップすると、登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
・手順2で［ ］→［メモ一覧］をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。

スケジュールの予定を作成する

1 ホーム画面で[ ]→[スケジュール]

2 [ ]

項目	説明
アカウント	保存するアカウントを選択します。
ラベル	表示するマークや色を選択します。
タイトルを入力	タイトルを入力します。
本文を入力	本文を入力します。

項目	説明
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
場所を入力	予定の場所を設定します。
入力オプションを表示	アラームの設定や画像の添付などができます。

3 [保存]

・スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時刻になるとステータスバーに「🔔」が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ→［お知らせ時間になりました］をタップすると、予定の詳細を表示できます。

■スケジュールの詳細を表示する

1 ホーム画面で[⋯]→[スケジュール]

2 予定のある日付／時間を表示

- 表示が月または週の場合は、予定のある日付をタップします。

3 詳細を表示する予定をタップ

- 予定を編集する場合は、［編集］→各項目を編集→［保存］をタップします。
- 予定を削除する場合は、［削除］→［削除する］をタップします。

・複数の予定を削除するには、ホーム画面で［⋯］→［スケジュール］→［⋮］→［選択削除］をタップして削除する予定にチェックを入れる→［削除実行］→［削除する］をタップします。

メモ

テキストを入力して、メモとして保存できます。

メモを作成する

1 ホーム画面で[⋯]→[メモ]

- メモ一覧画面が表示されます。

2 [＋]→メモを入力

- 「入力オプションを表示」をタップすると、アラームの設定や画像の添付などができます。

3 [保存]

■メモを編集する

1 メモ一覧画面で編集するメモを選択

2 [編集]→メモを編集→[保存]

■メモを削除する

1 メモ一覧画面で削除するメモを選択

2 [削除]→[OK]

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。
機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。
- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[データコピー]

2 [データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。
- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中やバッテリーセーバーの作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

■バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[データコピー]

2 [バックアップ&復元]

3 [バックアップ]→[バックアップ開始]→[開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

4 [トップに戻る]

■復元
microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で[⋯]→[データコピー]

2 [バックアップ&復元]

3 [復元]→[次へ]→[復元開始]→[開始する]

- 選択したデータが本端末に復元されます。

4 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■電話帳をdocomoのアカウントにコピー
Google アカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[⋯]→[データコピー]

2 [バックアップ&復元]

3 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]または[追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

4 [OK]

キッズモード

お子様専用のホーム画面を表示します。使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。
また、お子様の指紋を登録することで、ロック画面からお子様の指紋でキッズモードを起動できます。
あらかじめ画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しておいてください（P.112「画面ロックの解除方法を設定する」）。
・キッズモードでは、常に横画面表示になります。

1 ホーム画面で[キッズモード]

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❶ 保護者による制限
使用できるアプリや利用時間などを設定することができます。
❷ キッズブラウザ
プリセットされたキッズブラウザです。「キッズブラウザの管理」（P.90）で閲覧を許可したウェブサイトが表示されます。

❸ **おわる**
キッズモードを終了します。
❹ **キッズギャラリー**
「キッズギャラリーの管理」（P.90）でお子様に共有した写真やビデオを表示／再生できます。

・キッズモードで保存されたデータを削除する場合は、キッズモード終了後、「Files」アプリ（P.124「ファイル操作」）を使用して目的のデータを表示し、削除してください。

キッズモードを終了する

1 キッズモードのホーム画面で[ ]

2 画面ロックの解除方法を入力

キッズモードを設定する

1 キッズモードのホーム画面で[ ]

2 画面ロックの解除方法を入力

項目	説明
キッズのプロフィールを編集	お子様のプロフィールを編集します。
時間制限	キッズモードを使用できる時間帯や1回の使用時間などを設定します。
アプリへのアクセスを管理する	お子様が使用できるアプリを指定します。 指定されたアプリの機能に制限はありません。 ・許可したアプリはキッズモードのホーム画面に表示されます。 ・「アプリへのアクセスを管理する」画面には、キッズモードに登録できるアプリのみ表示されます（登録できても、正しく動作しない場合があります）。 ・アプリのダウンロードやアップデートはキッズモードではできません。キッズモード外（docomo LIVE UX、シンプルメニューなど）で行ってください。 ・ブラウザから他のアプリに連携する機能は、連携するアプリも合わせて許可が必要な場合があります。「アプリへのアクセスを管理する」画面に表示されないアプリが連携している場合は、連携アプリの起動はできません。

項目	説明
アプリへのアクセスを管理する	• 「dキッズ」を使用する場合は、あらかじめキッズモード外（docomo LIVE UX、シンプルメニューなど）で会員登録やdキッズアプリ内のコンテンツダウンロードなどを行ってください。 • 使用許可するアプリを追加すると、意図しない課金や通信料がかかる可能性がありますので、ご注意ください。 • アプリ名の下に利用状況が表示されます。
キッズブラウザの管理	お子様がキッズブラウザでアクセスできるウェブサイトを指定します。 設定した制限はキッズモードのキッズブラウザにのみ適用され、他のブラウザには適用されません。 • 「許可するウェブサイトのURLを追加」をタップして閲覧を許可するウェブサイトを登録できます。 • URLの右側の「 」をタップするとウェブサイトのプレビューが表示され、キッズブラウザにウェブサイトのプレビューが表示されるようになります。

項目	説明
キッズギャラリーの管理	お子様がキッズギャラリーで閲覧できる本端末上の画像や動画を指定します。 設定した制限はキッズモードのキッズギャラリーにのみ適用され、他のアプリには適用されません。
お子様の指紋認証によるクイックロック解除	ロック画面でお子様の指紋を認証すると、直接キッズモードを起動するように設定します。
お子様の顔認証によるクイックロック解除	ロック画面でお子様の顔を認証すると、直接キッズモードを起動するように設定します。
ブルーライトフィルター	目の疲れを軽減するために、ディスプレイが暖色に切り替わります。
無線LAN	キッズモード利用時のWi-Fi機能のON／OFFを設定します。
モバイルネットワーク	キッズモード利用時のモバイルデータ通信のON／OFFを設定します。

本体設定

設定メニュー

本端末は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末の設定状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

項目	参照先
ネットワークとインターネット	P.91
接続済みのデバイス	P.102
アプリと通知	P.103
電池	P.105
ディスプレイ	P.106
音	P.107
ストレージ	P.109
プライバシー	P.110
位置情報	P.110
セキュリティ	P.111
ドコモのサービス／クラウド	P.115
アカウント	P.116
ユーザー補助	P.117
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	P.119
Google	P.119
システム	P.119
タブレット情報	P.122

- 設定中の機能をお知らせする項目などが表示される場合があります。
- 画面上部の「設定を検索」欄にキーワードを入力すると、設定項目などを検索できます。
  各設定画面の「🔍」をタップしても検索ができます。

ネットワークとインターネット

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]

項目	説明
Wi-Fi	P.92
モバイル ネットワーク	P.95
機内モード	P.99
アクセス ポイントとテザリング	P.97
データセーバー	P.97
VPN※	P.99

項目	説明
プライベート DNS※	対応するDNSサーバーとの通信を自動的に暗号化するかどうかを設定します。プライベートDNSプロバイダを登録することもできます。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

Wi-Fi

Wi-Fi機能で自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機器は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

■Wi-Fiネットワークに自動で接続する

利用可能なアクセスポイントを検索して接続することができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

3 「Wi-Fiの使用」の「○」をタップしてONにする

- 利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

4 接続するアクセスポイントをタップ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力→[接続]をタップします。
- 「⊞」をタップすると、Wi-FiパスワードのQRコードをスキャンしてWi-Fiネットワークに接続できます。

- Wi-FiがONの場合でもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、モバイルネットワークでの接続に切り替わります。「Wi-Fi接続が切断されました。モバイルデータに切り替えますか？」と表示された場合は、項目を選択してください。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、利用できなくなったりする場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると「」などが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントへの接続時に表示されるインターネットにアクセスできないことをお知らせする通知をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です（P.35「dアカウントの設定をする」）。

■Wi-Fiネットワークに手動で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

1 ホーム画面で[]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

3 「Wi-Fiの使用」の「」をタップしてONにする

4 [ネットワークを追加]

5 ネットワーク名を入力→「セキュリティ」欄をタップ

6 セキュリティ方法を選択→必要に応じてセキュリティ情報を入力

- セキュリティ方法は「なし」「Enhanced Open」「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」「WPA/WPA2/WPA3-Enterprise」「WPA3-Enterprise 192-bit」から選択できます。

7 [保存]

■Wi-Fi接続を削除する

1 ホーム画面で[]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

3 切断するアクセスポイントをタップ→[削除]

■Wi-Fiの設定をする

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

3 [Wi-Fi 設定]

項目	説明
Wi-Fi を 自動的に ONにする※1	高品質の保存済みWi-Fiネットワークを検出したとき、自動的にWi-FiをONにして接続するかどうかを設定します。
パブリック ネットワークを通知する	高品質の公共ネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
証明書のインストール※2	証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ※1※2	Wi-Fiネットワークの状態などを評価して、より良いWi-Fiネットワークに接続する機能を設定します。
Wi-Fi Direct※1※2	P.94

※1「位置情報」(P.110) をONにすると設定できます。
※2「詳細設定」をタップすると表示されます。

- ホーム画面で [⋮⋮] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi] → [保存済みネットワーク] をタップすると、保存済みのWi-Fiネットワークを確認／削除したり、Wi-Fiパスワードの QRコードを表示したりできます。
- ホーム画面で [⋮⋮] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi データ使用量] をタップすると、Wi-Fiでのデータ使用量を確認できます。

■Wi-Fi Directで他の機器と接続する

アクセスポイントを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで直接Wi-Fi接続ができます。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]

3 [詳細設定]→[Wi-Fi Direct]→接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- [⋮] → [デバイスの検索] をタップすると、検出一覧を更新できます。デバイスの検索中は、「検索しています...」と表示されます。
- 検出されたWi-Fi Direct対応機器側に表示される本端末の名前を変更するには、[⋮] → [デバイス名を変更] をタップします。

モバイル ネットワーク

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

項目	説明
モバイルデータ	モバイルデータ通信のON／OFFを設定します。
データローミング	P.132
アプリのデータ使用量	「モバイルデータの使用サイクル」（P.95）で設定した使用サイクルでのアプリごとのモバイルデータ使用量を確認したり、データの警告と制限を設定したりできます。 グラフの下に表示されるアプリを選択すると、アプリごとにバックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定できます。
データ使用量の警告と制限	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
優先ネットワークの種類	P.133
ネットワークを自動的に選択※	P.132
ネットワークを選択※	「ネットワークを自動的に選択」をOFFに設定している場合に、利用可能なネットワークを検索します。
アクセス ポイント名※	P.96
携帯通信会社の設定※	SIM情報設定を行います（P.100）。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

■データの警告と制限を設定する

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

3 [データ使用量の警告と制限]

項目	説明
モバイルデータの使用サイクル	モバイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定します。
データ使用量を警告	モバイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
警告するデータ使用量	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
データ使用量を制限	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を一時停止するかどうかを設定します。
データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。

・表示されるモバイルデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。実際のモバイルデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。
・モバイルデータ使用量が指定の上限値に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されます。ご注意ください。
モバイルデータ通信を再開するには、一時停止をお知らせする画面で「再開」をタップします。一時停止をお知らせする画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にドラッグ→「モバイルデータの上限に達しました」の通知をタップ→［再開］をタップします。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/spmode/
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

■利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]
2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]
3 [詳細設定]→[アクセス ポイント名]

■アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]
2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]
3 [詳細設定]→[アクセス ポイント名]→[+]
4 [名前]→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→[OK]
5 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]
6 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力
7 [⋮]→[保存]

・MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

3 [詳細設定]→[アクセス ポイント名]→[⋮]

4 [初期設定にリセット]

データセーバー

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[データセーバー]

3 「データセーバーを使用」の「○」をタップしてONにする

- 設定を解除するには「●」をタップしてOFFにします。

- データセーバーでモバイルデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順3で［モバイルデータの無制限利用］→設定するアプリの［○］をタップします。
- データセーバーをONに設定中は、テザリング機能やポータブル アクセス ポイントを利用できません。

アクセス ポイントとテザリング

テザリング機能を利用すると、本端末をアクセスポイントとして無線LAN対応機器やUSB対応機器、Bluetooth機器をインターネットに接続させることができます。

- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバイルデータ通信を無効にしているとき、圏外のときなどでモバイルネットワークを利用できない場合は、テザリング機能を利用できません。
- 最大で10台（Wi-Fiテザリング：5台、USBテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます。
- 「データセーバー」（P.97）をONに設定中は、テザリング機能を利用できません。

■Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応通信機器をインターネットに接続できます。初期状態で設定されているネットワーク名（SSID）やセキュリティの設定、パスワードは変更できます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

3 [Wi-Fi アクセス ポイント]

4 「OFF」をタップしてONにする

5 Wi-Fi アクセス ポイントの詳細を設定

項目	説明
アクセス ポイント名	アクセスポイント（SSID）名を変更します。 「▦」をタップするとWi-FiアクセスポイントのパスワードのQRコードが表示されます。
セキュリティ	セキュリティ方式を設定します。
アクセス ポイントのパスワード	アクセスポイントのパスワードを設定します。
AP 周波数帯	AP 周波数帯を設定します。
アクセス ポイントを自動的にOFFにする※	端末が接続されていない場合に、自動的にWi-Fiアクセスポイントを OFFにするように設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

・Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを有効にすると、パケット通信に切り替わります。

■USBテザリングを設定する

本端末をUSBケーブル A to C 02（別売）を使用してパソコンに接続し、アクセスポイントとして利用することで、パソコンをインターネットに接続できます。

・本端末との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「パソコンと接続する」（P.129）をご参照ください。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続

2 ホーム画面で[⋯]→[設定]

3 [ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

4 「USBテザリング」の「○」をタップしてONにする

- 設定を解除するには「●」をタップしてOFFにし、USBケーブルA to C 02を取り外します。

・USBテザリング設定中は、本端末のmicroSDカードまたは内部ストレージをUSBストレージとしてパソコンから利用することはできません。

■Bluetoothテザリングを設定する

Bluetooth機器をインターネットに4台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]

3 「Bluetooth テザリング」の「○」をタップしてONにする

- 設定を解除するには「●」をタップしてOFFにします。

- Bluetooth機器から本端末に接続するには、ペア設定（P.127「ペアリング／接続」）を行い、Bluetooth機器で本端末との接続方法を設定する必要があります。
- Bluetooth機器からの操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]

3 「機内モード」の「○」をタップしてONにする

- ステータスバーに「✈」が表示されます。

- 機内モードがONの場合でもWi-FiやBluetooth機能をONにできます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能をONにしないでください。

VPN

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

■VPNを追加する

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]

3 [+]

4 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

5 [保存]

- VPNを編集するには、手順2でVPNの［⚙］→各項目を入力／設定→［保存］をタップします。
- VPNを削除するには、手順2でVPNの［⚙］→［削除］をタップします。

■VPNに接続する

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]

3 接続するVPNをタップ

4 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続するとステータスバーに「🔑」が表示されます。

■VPNに切断する

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[VPN]

3 接続中のVPNをタップ→[切断]

SIM情報設定を行う

通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定します。SIM情報の設定や確認、eSIMの初期化などができます。

■SIM情報を設定する

SIM情報の初期設定が終了していない場合、「携帯通信会社の設定」から設定できます。
認証操作が必要になる場合があります。あらかじめ画面ロックの解除方法を設定しておいてください（P.112「画面ロックの解除方法を設定する」）。

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]

3 [詳細設定]→[携帯通信会社の設定]

4 [同意する]

- アプリケーション・プライバシーポリシー、「SIM情報設定」、アプリ利用規約の内容を確認し、同意する場合は「同意する」をタップしてください。

5 認証を行う

- SIM情報設定画面が表示されます。
- 画面ロックが設定されていない場合は［画面ロック設定へ］→画面の指示に従って設定し、再度「携帯通信会社の設定」をタップしてください。

6 [設定する]

- サーバー接続確認画面が表示されます。

7 [設定する]

- EID（eSIM識別番号）の入力画面が表示されます。

8 EID(eSIM識別番号)の下4桁を入力→[OK]

- SIM情報のインストールが開始します。電源を切らないでください。
- EID（eSIM識別番号）は、本端末が入っていた箱の側面にあるラベルを確認して入力してください。

9 [有効にする]

- 通信するためには必ずSIM情報を有効にしてください。
- 設定が完了すると、通知音とともに「処理が正常に終了しました。電話番号　XXX-XXXX-XXXX」と通知される場合があります。

・回線契約中のSIM情報が有効に設定されている状態でSIM情報を追加設定する場合は、パケット通信料がかかる場合があります。

■eSIM、接続サーバーの設定をする

EIDの表示や認証設定の変更などができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]

3 [詳細設定]→[携帯通信会社の設定]

- 認証画面が表示された場合は、認証を行ってください。

4 [⋮]

項目		説明
設定	認証設定	SIM情報を設定する際に、画面ロックの解除方法の入力による認証をするかどうかを設定します。
	サーバー自動検知	接続するサーバーを自動的に検知するかどうかを設定します。
SIM情報追加		P.100
SIM情報追加（QRコード利用）		QRコードを読み取り、SIM情報をサーバーからダウンロードして追加します。「直接入力」をタップすると、接続するサーバーアドレスを入力してSIM情報を追加できます。
サーバーアドレス		接続するサーバーアドレスを確認変更します。
SIM情報初期化		eSIM内のすべてのSIM情報を削除します。初期化すると通信ができなくなり、サーバーアドレスも初期化されます。
EID表示		EID（eSIM識別番号）を表示します。
利用規約		アプリケーション・プライバシーポリシー、「SIM情報設定」アプリ利用規約を表示します。
アプリ情報		アプリの情報を表示します。
アプリ終了		SIM情報設定アプリを終了します。

・SIM情報が有効に設定されていないと、モバイル通信および一部のアプリが利用できません。
・ドコモをご利用中の場合は、サーバーアドレスを変更しないでください。
・eSIMを初期化しても、回線契約は解約されません。

■SIM情報を確認・設定する

SIM情報設定画面では、SIM情報を確認できます。また、SIM情報の表示名を変更したり、有効／無効を設定したりできます。初期状態（初期設定後）では「NTT DOCOMO」が表示名に設定されています。

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]

3 [詳細設定]→[携帯通信会社の設定]

- 認証画面が表示された場合は、認証を行ってください。
- SIM情報が複数設定されている場合は、設定するSIM情報をタップしてください。

項目	説明
通信会社	SIM情報を提供する通信会社が表示されます。
ICCID	SIM情報の識別番号が表示されます。
編集	SIM情報の表示名を設定します。
無効にする／有効にする	SIM情報の状態を有効／無効に切り替えます。

接続済みのデバイス

Bluetooth機能の設定など、外部機器との接続に関する設定をします。

1 ホーム画面で[⁘]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]

項目	説明
新しいデバイスとペア設定する	P.127
接続の設定	P.103

- 本端末と他の機器を接続しているときは、「新しいデバイスとペア設定する」の上に「メディア デバイス」が表示されます。タップすると接続方法の変更や、接続の解除などの操作ができます。
- 以前にBluetooth機器とペア設定したデバイスがあると、「新しいデバイスとペア設定する」の下に「以前接続されていたデバイス」が表示され、ペア設定したBluetooth機器の確認や設定などの操作ができます。
- 複数の機器との接続情報がある場合は、最新の情報のみ表示されます。「すべて表示」をタップするとすべての情報が表示できます。

接続の設定をする

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]→[接続の設定]

項目	説明
Bluetooth	Bluetooth機能のON／OFFを切り替えたり、Bluetooth機器とペア設定をしたりします。
キャスト	Google Cast対応機器などに本端末の画面を表示します。
印刷	印刷サービスのアプリ（プラグイン）を追加して、本端末から印刷ができるように設定します。
Bluetooth で受信したファイル	P.128
Chromebook	本端末とChromebookをリンクします。
ニアバイシェア	付近のデバイスとファイルを共有できます。
Android Auto	本端末を車載端末（カーナビ）のように利用できます。

アプリと通知

本端末にインストールされているアプリを管理します。また、優先して使用するアプリを設定することもできます。

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [アプリと通知]

項目	説明
最近開いたアプリ	最近起動したアプリの一覧が表示されます。アプリをタップすると、アプリ情報を表示できます。
XX個のアプリをすべて表示	P.104
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話が表示されます。
通知	通知について設定します。
利用時間	アプリごとの利用時間を確認したり、アプリごとにタイマーを設定して1日の利用時間を制限したりできます。
デフォルトのアプリ※	優先して使用するアプリの設定を確認／変更します。
権限マネージャ※	アプリの権限の設定を確認／変更します。
緊急速報メール※	緊急速報メールの設定をします。
特別なアプリアクセス※	本端末の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

アプリを管理する

本端末にインストール済みのアプリの情報の確認やアプリを強制停止、データ消去、アンインストールができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

- [⋮]→[システムアプリを表示]をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

3 管理するアプリをタップ

- アプリ情報の確認をしたり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行できます。

・初期状態でインストールされているアプリは、アンインストールできない場合があります。

■アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスは、無効化できる場合があります。無効化したアプリは実行されなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

- [⋮]→[システムアプリを表示]をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

3 無効化するアプリをタップ→[無効にする]

4 [アプリを無効にする]

・アプリを有効化するには、手順3で有効化したいアプリをタップ→[有効にする]をタップします。
・アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

■アプリのストレージやキャッシュを消去する

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

- [⋮]→[システムアプリを表示]をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

3 アプリを選択→[ストレージとキャッシュ]

4 [ストレージを消去]／[キャッシュを削除]

- 「ストレージを消去」を選択した場合は「OK」をタップします。

■アプリの設定をリセットする

アプリの無効化や特定の操作で使用するデフォルトのアプリなどの設定をすべてリセットします。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アプリと通知]→[XX個のアプリをすべて表示]

3 [⋮]→[アプリの設定をリセット]

4 [アプリをリセット]

電池

電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの設定などを行います。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [電池]

項目	説明
XX%	電池残量が表示されます。使用状況に応じて、電池切れの推定時刻（目安）などが表示されます。
アプリは正常に実行されています※	電池使用量の状況などが表示されます。
バッテリーセーバー	指定した電池残量になったとき、本端末の動作や機能を制限して使用可能時間を延ばすようにするかどうかを設定します。
バッテリー保護モード	P.105
自動調整バッテリー	アプリの電池使用量が多いかどうかを検出します。
電池残量	ステータスバーの電池アイコンの左側に電池残量を表示するかどうかを設定します。
前回のフル充電	前回のフル充電からの日時を表示します。
電池の性能	電池の性能を表示します。
最後にフル充電してからの使用時間	最後にフル充電してからの使用時間を表示します。

※使用状況によって表示が異なる場合があります。

・電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。
電池の最適化の設定を変更するには、ホーム画面で［⋮⋮］→［設定］→［アプリと通知］→［詳細設定］→［特別なアプリアクセス］→［電池の最適化］→［最適化していないアプリ］→［すべてのアプリ］→設定するアプリをタップ→［最適化しない］→［完了］をタップします。

バッテリー保護モードを設定する

バッテリー容量を調節して、バッテリーの寿命を延ばすための機能です。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [電池]→「バッテリー保護モード」の「○」をタップしてONにする

● 設定を解除するには「●」をタップしてOFFにします。

ディスプレイ

画面の明るさやスリープなどについて設定します。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ディスプレイ]

項目	説明
明るさのレベル	画面の明るさのスライダーを左右にドラッグして明るさを調整します。
ダークテーマ	対応する画面や表示にダークテーマを適用します。
アイプロテクションモード	画面が黄味がかった色になります。薄明りの下でも画面が見やすくなり、寝付きを良くする効果も期待できます。
明るさの自動調節	「明るさのレベル」の設定を基準に、周囲の明るさなどに応じて自動で画面の明るさを調節します。
マイホームスクリーン	ホーム画面を変更します。
壁紙※	壁紙を設定します。
画面消灯※	画面が消灯するまでの時間を設定します。
画面の自動回転※	P.38
フォントサイズ※	文字サイズを設定します。
表示サイズ※	画面上のアイテムのサイズを設定します。
スクリーンセーバー※	スクリーンセーバーを設定します。
ロック画面※	P.106
インジケーターランプ※	新着メッセージ（SMS）などの通知があるときや、充電しているときに通知LEDを点灯／点滅させるかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

ロック画面の設定をする

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ディスプレイ]→[詳細設定]→[ロック画面]

項目	説明
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知の内容を設定します。
ロック画面にテキストを追加	ロック画面に表示するテキストを設定します。
ロックダウン オプションの表示	▯（電源キー）を1秒以上長押ししたときに表示されるメニューに「ロックダウン」を表示します。 「ロックダウン」をタップして画面ロックをかけると、Smart Lockや指紋認証によるロック解除を無効にしたり、通知を非表示にしたりできます。 ・画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しているときに表示されます。

項目	説明
時間と情報を常に表示	ロック画面に時刻や通知アイコンなどを常に表示します。電池使用量が増えます。
通知時にスリープ状態から復帰	画面消灯時に通知を受信したときに、ロック画面を表示します。

音

通知音などの音量やマナーモード、操作時の音／バイブレーションを設定します。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [音]

項目	説明
ドルビーオーディオアプリを起動	オーディオの設定をします。
メディアの音量	各音量のスライダーを左右にドラッグして、音量を調整します。
アラームの音量	
通知の音量	
サイレント モード	P.108
メディア	メディア プレーヤーの設定をします。
デフォルトの通知音	通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音を設定します。
画面ロックの音	（電源キー）を押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
充電時の音とバイブレーション※	充電の開始を音と振動でお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作音※	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
タップ操作時のバイブ※	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

- ／（音量上／下キー）を押す→音量調整バーの「」をタップすると、メディアの音量やアラームの音量、通知の音量を調節できます。

マナーモード

通知音などの音量やマナーモード、操作時の音／バイブレーションを設定します。

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、スクリーンショット音、アラーム音はスピーカーから鳴ります。
- マナーモードを設定しても、音楽・動画の再生音は鳴りますが、「メディアの音量」（P.107）で音を鳴らさないようにできます。

■マナーモード（サイレント モード）を設定する

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [音]→[サイレント モード]

3 サイレント モードの詳細を設定

項目	説明
人物	サイレント モードがONのとき、一部のユーザーからの着信や+メッセージの通知音や振動を許可する条件を設定します。
アプリ	サイレント モードがONのとき、音や振動を許可するアプリを設定します。
アラームとその他の割り込み	サイレント モードがONのときのアラームやメディアサウンドなどの音や振動を許可するか設定します。
スケジュール	サイレント モードを自動的にONにするスケジュールを設定します。
クイック設定の期間※	サイレント モードを手動でONにしたとき、機能をOFFにするタイミングを設定します。
通知の非表示オプション※	サイレント モードがONのときの通知動作を設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

4 [今すぐ ON にする]

■マナーモード（バイブあり）を設定する

1 ／(音量上／下キー)を押す→[🔔]

- 音量調節バーのアイコンが「📳」に変わります。

■マナーモード（バイブなし）を設定する

1 ／(音量上／下キー)を押す→[🔔]→[📳]

- 音量調節バーのアイコンが「🔕」に変わります。

ストレージ

本端末のメモリ使用状況を確認したり、ストレージの合計容量／空き容量を確認したりできます。

1 ホーム画面で[⊞]→[設定]

2 [ストレージ]

項目	説明
XX.XXGB 合計XX.XX GBを使用中	内部ストレージの使用容量／合計容量が表示されます。
内部共有ストレージ※	内部ストレージの使用容量／合計容量が表示されます。
SDカード※	microSDカードの使用容量／合計容量が表示されます。
USBドライブ※	USBストレージの使用容量／合計容量が表示されます。

※microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。

- 内部ストレージの空き容量が少なくなると、本端末の動作が不安定になることがあります。[内部共有ストレージ]→[ストレージを管理]をタップすると、ファイルやアプリの一時ファイルを選択して削除し、内部ストレージの空き容量を増やすことができます。
- [内部共有ストレージ]→[ファイル]をタップするか、「SDカード」／「USBドライブ」をタップするとデータ一覧画面が表示され、保存されているデータの確認や、データのコピー／移動／削除／共有などの操作ができます（P.124「ファイル管理」）。
- microSDカード／USBストレージの認識を解除するには、「SDカード」／「USBドライブ」の「⏏」をタップします。再度認識させる場合は[SDカード]／[USBドライブ]→[マウント]をタップします。
- microSDカードのフォーマットを行うには、[SDカード]→[⋮]→[ストレージの設定]→[フォーマット]→[SDカードをフォーマット]をタップします。フォーマットを行うと保存されている内容がすべて消去されますのでご注意ください。

プライバシー

権限などの設定、確認ができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [プライバシー]

項目	説明
ユーザー補助の使用※1	本端末へフルアクセスを許可しているユーザー補助アプリを確認できます。該当するアプリがある場合に表示されます。
権限マネージャ	アプリの権限の設定を確認／変更します。
パスワードの表示	PIN／パスワードなどの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
ロック画面上の通知	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※2
Google の自動入力サービス	保存された情報を確認したり、設定を変更したりします。
Google ロケーション履歴※3	Google ロケーション履歴を利用するかどうかを設定したり、保存されたアクティビティを管理したりします。
アクティビティ管理※3	アクティビティを有効にするかどうかを設定したり、Googleに保存を許可するアクティビティと情報を選択したりします。
広告※3	広告IDをリセットしたり、広告IDを使用しないように設定したりします。
使用状況と診断情報※3	使用状況などをGoogleに送信するかどうかを設定します。

※1 該当するアプリがある場合に表示されます。
※2「画面ロック」の設定により表示される項目は異なります。
※3「詳細設定」をタップすると表示されます。

位置情報

位置情報を利用するアプリを使用するには、位置情報の使用をONにする必要があります。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [位置情報]→「位置情報の使用」の「○」をタップしてONにする→[同意する]

3 位置情報の詳細を設定

項目	説明
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報を使用したアプリが表示されます。「すべて表示」をタップすると、最近の位置情報を使用したすべてのアプリが表示されます。
位置情報へのアプリのアクセス	位置情報へのアクセスを許可するアプリを設定します。

項目	説明
Wi-Fi のスキャンとBluetooth のスキャン	位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-Fiネットワークや Bluetooth機器をスキャンするかどうかを設定できます。 ONにすると「Wi-Fi」や「Bluetooth」をOFFにしている場合もスキャンします。
Google ロケーション履歴※	Google ロケーション履歴を利用するかどうかを設定したり、保存されたアクティビティを管理したりします。
Google 位置情報の精度※	Wi-Fiやモバイルネットワークなどを使用して、位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。
Google 現在地の共有機能※	現在地の共有機能を利用します。
緊急位置情報サービス※	緊急位置情報サービス（ELS）を利用するかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

セキュリティ

セキュリティについての設定をします。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [セキュリティ]

項目	説明
Google Play プロテクト※1	本端末を定期的にスキャンして、セキュリティリスクがないかを確認するように設定します。
セキュリティ アップデート※1	ソフトウェアアップデートの有無を確認します。
デバイスを探す※1	「デバイスを探す」機能を利用するかどうかを設定します。
Google Play システム アップデート※1	システムアップデートの有無を確認します。
画面ロック	P.112
指紋	P.113
顔認証	P.114
Smart Lock	画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合に、自動的にロックを解除する条件を設定します。
デバイス管理アプリ	本端末を管理するアプリを有効にするかどうかを設定します。
暗号化と認証情報※2	暗号化や認証情報について設定します。タブレットはお買い上げ時に暗号化されています。
信頼エージェント※2	画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しているとき、信頼エージェントを有効にするかどうかを設定します。

項目	説明
アプリ固定※2	アプリをピン留めして、使用できるアプリを固定します。「■」をタップし、最近起動したアプリのサムネイル上部に表示されるアイコンをタップして、「固定」をタップすると、アプリを固定できます。固定を解除するには、「◀」／「■」を同時にロングタッチしてください。
SIMの削除の確認※2	ダウンロード型SIMを消去する前に本人確認を行うかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2「詳細設定」をタップすると表示されます。ただし、操作状況によっては、「詳細設定」をタップしなくても表示される場合があります。

画面ロックの解除方法を設定する

電源を入れるたびに、またはスリープモードを解除するたびに、設定した画面ロックの解除方法の入力を必要とするかどうかを設定できます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [セキュリティ]→[画面ロック]

3 [スワイプ]／[パターン]／[PIN]／[パスワード]→画面の指示に従って設定

- 「PIN」を選択したときは4～16桁の数字、「パスワード」を選択したときは4～16文字の英数字・記号を登録します。

4 ロック画面の通知方法を選択→[完了]

- 画面ロックの解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定した場合に表示されます。
- 設定が完了すると、設定メニューの「セキュリティ」に戻ります。
- 画面ロックの解除方法を設定した後に、▯（電源キー）を押してスリープモードにする、または画面が消灯してから「画面消灯後にロック」で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。
- 画面ロックを無効にするには、手順2で「なし」をタップします。PIN、パターン、パスワードのいずれかに設定している場合は、ロックの解除が必要となります。

- パターン／PIN／パスワードの入力を5回連続して間違えると、画面ロックを解除できなくなります。約30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- 設定したパターン／PIN／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■画面ロックの動作を設定する

画面ロックを「パターン」／「PIN」／「パスワード」にした場合の動作を設定します。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [セキュリティ]→「画面ロック」の右側の[⚙]

項目	説明
パターンを表示する※	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。

項目	説明
画面消灯後にロック	画面が消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	（電源キー）を押して画面を消灯したとき、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。

※「パターン」に設定したときのみ表示されます。

指紋認証機能を設定する

本端末に指紋を登録することで、指紋認証機能を利用して画面ロックの解除などができます。指紋認証は、登録した指で指紋センサーに触れて行います。

■指紋認証機能を利用する

指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は指紋の特徴情報を利用するため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - 指に汗や脂などが多く付着して汚れている／濡れている
  - 泥や油などで指が汚れている
  - 風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指が乾燥している
  - 手荒れや、指に損傷（切り傷やただれなど）がある
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - 登録時と認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーが汚れると認証性能が低下したり、指紋の読み取りができなくなったりすることがあります。指紋センサーの表面は時々清掃してください。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。指紋センサーに傷が付くことがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。

■指紋を登録する

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]

2 [セキュリティ]→[指紋]

- 指紋設定画面が表示されます。
- 指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋設定画面が表示されます。
- 画面ロックの解除方法の設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って解除方法を設定してください。設定した画面ロックの解除方法は、指紋認証ができない場合に利用します。

3 画面の指示に従って操作

- 登録が終了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示されます。「完了」をタップすると登録を終了、「別の指紋を登録」をタップすると他の指紋を登録できます。

・登録した指紋をタップすると、指紋の名前を変更できます。
・登録した指紋を削除するには、指紋設定画面で削除する指紋の右側の［🗑］→［削除］をタップします。

■指紋認証をする

1 ロック画面／指紋認証画面で、指紋センサーに登録した指で触れる

- ロック画面で「🔒」をタップすると、設定した画面ロックの解除方法を入力してロックを解除できます。

・指紋認証に5回続けて失敗すると、30秒後に指紋認証の再試行を促すメッセージが表示されます。ロック画面で「🔒」をタップし、画面ロックの解除方法を入力してロックを解除できます。

顔認証

顔認証は、所有者の顔を認識する認証機能です。画面ロック解除などを行うことができます。

■顔認証機能利用時のご注意

・顔認証を最適な形で行うために、顔の登録時に以下の点に注意してください。
- 明るい場所で顔を登録してください。ただし逆光となる場所では顔を登録しないでください。
- 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないでください。
- 顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。

・ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点に注意してください。
- 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
- 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
- 自分に似た人やモノでもロック解除されてしまう場合があります。

■顔を登録する

顔認証に使う顔データを登録します。

・顔は1件のみ登録できます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [セキュリティ]→[顔認証]

- 画面ロックの解除方法の設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って解除方法を設定してください。設定した画面ロックの解除方法は、顔認証ができない場合に利用します。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は、解除方法を入力すると顔認証の設定画面が表示されます。

3 [続行]→登録する顔を画面に表示する

4 [完了]

■顔認証を管理する

顔を登録済みの場合に顔データの削除などができます。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [セキュリティ]→[顔認証]

- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されますので、解除方法を入力します。

項目	説明
デバイスのロック解除	顔認証の用途を設定します。ONにするとロック解除やアプリのログイン、支払いのタイミングで顔認証が起動します。
ロック画面をスキップ	
顔認証データを削除	登録した顔データを削除します。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [ドコモのサービス／クラウド]

項目	説明
dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリデータバックアップ	本機能に対応したドコモアプリのデータを自動でデータ保管BOXにバックアップしたり、本端末に復元したりします。
ドコモアプリ管理	ドコモが提供するアプリのアップデートの確認などを行います。
おすすめアプリ	おすすめアプリの各種設定をしたり、過去に表示された通知を確認したりします。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況に合わせておすすめ使い方ヒントを表示するように設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末アプリ情報送信	アプリ情報をドコモが管理するサーバーへ送信するかどうかを設定します。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報／プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモ初期設定	本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。

項目	説明
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。
- 無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アカウント

Googleなど、オンラインサービスのアカウントを本端末に設定し、情報の同期やアップデートができます。
「初期設定」（P.34）でGoogleアカウントを設定しなかった場合は、GmailやGoogle Playなどの初回利用時にもアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

アカウントを追加する

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アカウント]→[アカウントを追加]

3 追加するアカウントのサービスをタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントの設定をする

アカウントの設定をします。

- データの同期など、一部の機能は自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。
- 設定内容は選択したアカウントにより異なります。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アカウント]→アカウントを選択

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントを自動で同期する

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期するように設定します。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アカウント]→「アプリデータを自動的に同期する」をタップしてONにする

アカウントを手動で同期する

自動同期がOFFのとき、アカウントを個別に同期します。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [アカウント]→アカウントを選択

3 [アカウントの同期]→同期する項目を選択

アカウントを削除する

本端末からオンラインサービスのアカウントや連絡先、設定情報などを削除します。

- 本端末からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [アカウント]→アカウントを選択

3 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

- docomoのアカウントは削除できません。

ユーザー補助

ユーザーの操作を補助する機能についての設定をします。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [ユーザー補助]

項目	説明
ダウンロードしたアプリ	ダウンロードしたユーザー補助アプリが表示されます。アプリをタップすると、アプリを使用するかどうかを設定したり、音量キーのショートカットでアプリを起動するように設定できます。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントサービスを使用するかどうかを設定します。
TalkBack	TalkBackを利用するかどうかを設定します。 TalkBackをONにすると、ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
選択して読み上げ	選択して読み上げを利用するかどうかを設定します。選択して読み上げをONにすると、画面下部の「⋮⋮」をタップし、テキストなどをドラッグして、選択した範囲のテキストなどを読み上げさせることができます。
テキスト読み上げの設定	読み上げエンジンの設定や、読み上げの速度などを設定します。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどの表示サイズを拡大／縮小します。
ダークテーマ	対応する画面や表示にダークテーマを適用します。
拡大	画面をトリプルタップするか、画面下部の「⋮⋮」をタップして拡大操作ができるようにするかどうかを設定します。
色補正	色補正を利用するかどうかを設定します。
色反転	画面の色を反転させて表示するかどうかを設定します。

項目	説明
マウスポインタを拡大	マウスを本端末に接続して操作するとき、マウスポインタを拡大して表示するかどうかを設定します。
アニメーションを無効化	画面表示のアニメーション効果をOFFにするかどうかを設定します。
スイッチ アクセス	スイッチ アクセスを利用するかどうかを設定します。スイッチ アクセスを利用すると、1つまたは複数のスイッチで本端末を操作できます。
ユーザー補助機能メニュー	画面下部の「」をタップして、ユーザー補助機能メニューを表示できるようにします。大きなメニュー表示から、ロック操作や画面の明るさの調整、スクリーンショットの撮影などができます。
自動クリック（静止時間）	マウスを本端末に接続して操作している場合などに、カーソルの動きが一定時間停止したときに、自動的に操作を行うかどうかを設定します。
画面の自動回転	P.38
長押しの認識時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	+メッセージの受信時などに表示される、操作メニューが表示された通知メッセージの表示時間を設定します。 アプリや機能によっては、設定どおりに動作しない場合があります。

項目	説明
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	着信や通知があったとき、キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。 アプリや機能によっては、OFFにしても本端末が振動する場合があります。
システム ナビゲーション	キーアイコンの操作を、ジェスチャーナビゲーションや3ボタン ナビゲーションに設定します。
モノラル音声	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
オーディオ バランス	オーディオバランスを設定します。
字幕の設定	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定したりします。
高コントラストテキスト	背景色に対して文字をくっきり表示するかどうかを設定します。
ロック画面からのショートカット※	音量上キーと音量下キーを同時に数秒長押しすることで、TalkBackなどのショートカット機能をロック画面からONにできます。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、アプリタイマーなどのツールで利用時間を管理したりして、本端末の使いすぎを防止することができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]→各項目を確認／設定

Google

Googleのアカウントやサービスに関する、情報や設定の確認、変更、削除などができます。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [Google]

3 各項目を設定

- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、手順3で[Google アプリの設定]→[検索、アシスタントと音声]→[音声]→[Bluetooth での録音]の[◯]をタップしてONにします。

システム

言語と文字入力や日付と時刻などの設定をします。

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[設定]

2 [システム]

項目	説明
言語と入力	P.120
ジェスチャー	P.120
日付と時刻	P.121
バックアップ	P.121
リセット オプション※	P.122
認定ロゴ※	技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
システム アップデート※	P.140

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

言語と入力

本端末で使用する言語と文字入力についての設定をします。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [システム]→[言語と入力]

項目	説明
言語	表示言語を設定します。
画面キーボード	ソフトウェアキーボードについて設定します。
物理キーボード	Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
スペルチェック※	スペルチェックについて設定します。
自動入力サービス※	自動入力サービスについて設定します。「⚙」をタップすると、Google アカウントを利用した自動入力について設定できます。
単語リスト※	任意の単語を単語リストに登録します。
ポインタの速度※	ポインタの速度を設定します。
テキスト読み上げの設定※	端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

※「詳細設定」をタップすると表示されます。

ジェスチャー

▯（電源キー）などを押したときの動作を設定します。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [システム]→[ジェスチャー]

項目	説明
カメラをすばやく起動	▯（電源キー）を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。
システム ナビゲーション	キーアイコンの操作を、ジェスチャーナビゲーションや3ボタン ナビゲーションに設定します。
電源ボタン メニュー	電源ボタンを長押しして、接続しているデバイスのコントロールにアクセスするかどうかを設定します。

日付と時刻

日付と時刻についての設定をします。

1 ホーム画面で[⁞⁞]→[設定]

2 [システム]→[日付と時刻]

項目	説明
ネットワークの時刻を使用する	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
言語地域のデフォルトを使用する	「言語」(P.120)の設定にしたがって自動的に24時間表示にするかどうかを設定します。
24時間表示	24時間表示を手動で設定します。

- 日付、時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定する場合は、「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」「言語地域のデフォルトを使用する」をOFFにする必要があります。

バックアップ

Google ドライブへのバックアップを設定します。

1 ホーム画面で[⁞⁞]→[設定]

2 [システム]→[バックアップ]

項目	説明
Google ドライブへのバックアップ	アプリのデータや本端末の設定などを、Google ドライブにバックアップするかどうかを設定します。
アカウント※1	Google ドライブにバックアップするアカウントを設定します。
d-42A のバックアップ※2	本端末のデータのバックアップ状況を確認できます。
今すぐバックアップ※2	タップするとバックアップを開始します。
Google フォト※2	「フォト」アプリのバックアップと同期について設定します。
Wi-Fi 使用時のみ※2	Wi-Fi使用時のみバックアップするかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
※2 アカウントを設定すると表示されます。

リセット オプション

ネットワーク、アプリ、デバイスをリセットします。

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [システム]→[詳細設定]

3 [リセット オプション]

項目	説明
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	ネットワークの設定をリセットします。
アプリの設定をリセット	アプリの設定をリセットします。
すべてのデータを消去（出荷時リセット）	本端末に設定したGoogle アカウントや、インストールしたアプリなどのデータを消去し、初期状態に戻します。 ・本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。 ・実行するには、[すべてのデータを消去]→[すべてのデータを消去]をタップします。

・「すべてのデータを消去（出荷時リセット）」を実行するときに、「SIM情報初期化」がONの状態で「すべてのデータを消去」→［すべてのデータを消去］をタップすると、SIM情報も同時に消去されます。すべてのSIM情報が初期化され、通信および一部のアプリ・機能が利用できなくなります。初期化しても回線の契約は解約されません。

タブレット情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [タブレット情報]

項目	説明
デバイス名	本端末の名前を登録します。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
緊急時情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。
法的情報	サードパーティライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
SIMのステータス	バージョンや各種番号、eSIMのステータスなどを確認できます。
モデル	
IMEI	
Android バージョン	
IP アドレス	
Software version	
Wi-Fi MACアドレス	
デバイスのWi-Fi MACアドレス	
Bluetoothアドレス	
稼働時間	
ビルド番号	

項目	説明
カメラ	本端末のハードウェアのスペックを確認できます。
CPU	
RAM サイズ	
ROM サイズ	
表示	

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

初期状態の内部ストレージ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	データ
Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
Audiobooks	オーディオブックなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Documents	テキストファイルなど
Download	ウェブブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音など
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcastのファイルなど
Ringtones	着信音など

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードの取り付け／取り外しについて（P.27「microSDカードの取り付け／取り外し」）。

ファイル操作

本端末の内部ストレージやmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示／再生したり、管理したりできます。

ファイルやフォルダの操作

■ファイルやフォルダを表示／再生する

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[Files]

2 [見る]→カテゴリやストレージをタップ

- microSDカード内のファイルを確認する場合には、「SDカード」またはSDカードの名称をタップします。

3 フォルダをタップ→ファイルをタップ

- ファイルを表示／再生するアプリが起動し、ファイルを確認できます。

■フォルダを作成する

1 ホーム画面で[⁘]→[Files]

2 [見る]→ストレージをタップ

3 [⋮]→[新しいフォルダを追加]

4 フォルダ名を入力→[フォルダを作成]

■ファイルやフォルダの名前を変更する

1 ホーム画面で[⁘]→[Files]

2 [見る]→カテゴリやストレージをタップ

3 名前を変更するファイルやフォルダをロングタッチ

4 [⋮]→[名前を変更]

5 名前を入力→[OK]

■ファイルやフォルダをコピー／移動する

1 ホーム画面で[⁘]→[Files]

2 [見る]→カテゴリやストレージをタップ

3 移動したいファイルやフォルダをロングタッチ

4 [⋮]→[コピー]／[移動]→コピー／移動先のフォルダを表示

5 [ここにコピー]／[ここに移動]

■ファイルやフォルダを削除する

1 ホーム画面で[⁘]→[Files]

2 [見る]→カテゴリやストレージをタップ

3 削除したいファイルやフォルダをロングタッチ

4 [🗑]→[削除]

ファイルやフォルダを検索する

1 ホーム画面で[⁘]→[Files]

2 [🔍]→ファイル／フォルダ名を入力→[🔍]

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetooth機器との間でデータの送受信やワイヤレス接続ができます。

- 対応バージョンやプロファイルなどについては、「主な仕様」（P.145）をご参照ください。
- 本端末と接続するBluetooth機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 市販されているすべてのBluetooth機器との接続や動作を保証するものではありません。

■Bluetooth機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離20m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）からできるだけ離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいためご注意ください。正常に接続できない場合やテレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりする場合があります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LAN対応機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末と無線LAN対応機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をONにする

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]→[接続の設定]

3 [Bluetooth]

- Bluetooth設定画面が表示されます。

4 「OFF」をタップしてONにする

■本端末の名前を変更する

他のBluetooth機器で、本端末を検出したときに表示される名前を変更します。

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]→[接続の設定]

3 [Bluetooth]→[デバイス名]

4 本端末の名前を入力→[名前を変更]

ペアリング／接続

本端末と他のBluetooth機器でデータのやり取りができるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

■他のBluetooth機器とペアリング／接続する

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]→[新しいデバイスとペア設定する]

- 「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth機器が一覧表示されます。

3 ペアリング／接続を行う機器をタップ

4 確認画面でBluetoothペア設定コード(パスコード)を確認→[ペア設定する]

- 「メディア デバイス」欄にペア設定されたBluetooth機器名が表示されます。

■他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

1 確認画面でBluetoothペア設定コード(パスコード)を確認→[ペア設定する]

■ペアリング／接続を解除する

1 ホーム画面で[⁞⁞⁞]→[設定]

2 [接続済みのデバイス]→接続中のBluetooth機器名をタップ

- Bluetooth機器名の右側に「⚙」が表示されている場合は、「⚙」をタップしてください。

3 [削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

- 接続のみを解除する場合は、「接続を解除」をタップしてください。再接続するときは、「接続」をタップします。

データの送受信

・あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

■データを受信する

1 相手側のBluetooth機器からデータを送信

- ステータスバーに「」が表示されます。

2 ステータスバーを下にドラッグ→「着信ファイル」の通知で［承諾］

- 受信を開始するとステータスバーに「」が表示されます。
- データの受信後にステータスバーを下にドラッグ→［Bluetooth共有：受信したファイル］をタップして、受信したファイルを確認できます。

・受信したファイルはホーム画面で［］→［設定］→［接続済みのデバイス］→［接続の設定］→［Bluetooth で受信したファイル］をタップしても確認できます。

■データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth機器に送信できます。

1 各アプリの共有メニューで［Bluetooth］

2 送信する相手のBluetooth機器をタップ

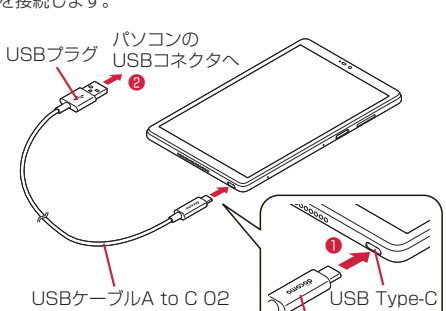
- 送信を開始するとステータスバーに「」が表示されます。

外部機器接続

パソコンと接続する

パソコンに接続すると、内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンとやり取りできます。

- USBケーブルA to C 02（別売）を使用して、本端末とパソコンを接続します。



1 USBケーブルA to C 02のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む（❶）

2 USBケーブルA to C 02のUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（❷）

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。
  -Microsoft Windows 10
  -Microsoft Windows 8.1

本端末をUSBストレージとして使用する

本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 02（別売）で接続して、内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 接続するパソコンの仕様や使用目的に応じて、接続モードを設定できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 02で接続する

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

2 ステータスバーを下にドラッグ→「Android システム・このデバイスをUSBで充電中」の通知をタップ

3 [ファイル転送]

- 「PTP」をタップすると、本端末の「DCIM」「Pictures」フォルダのみ表示されます。

4 パソコンを操作して、本端末の内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りする

本端末をパソコンから取り外すには

1 パソコン側で本端末の安全な取り外し操作を行う

2 USBケーブルA to C 02を取り外す

・本端末とパソコンとの間でデータのやり取りをしているときにUSBケーブルA to C 02を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

キャストを利用する

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

・Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。

・接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で[⋯]→[設定]→[接続済みのデバイス]

2 [接続の設定]→[キャスト]

3 [⋮]→「ワイヤレスディスプレイの有効化」をタップしてONにする

4 接続する機器をタップ

- 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 接続を解除するには、接続中の機器をタップ→[接続を解除]をタップします。

・起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができなかったり、途中で終了する場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/

■対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850
SMS	○	○	○
パケット通信※	○	○	○

※ローミング時にパケット通信を利用するには、「モバイル ネットワーク」の「データローミング」（P.132）をONに設定する必要があります。

- 海外で＋メッセージアプリをご利用いただくには＋メッセージアプリでの設定が必要です（P.67「＋メッセージについてのお知らせ」）。
- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、「通知パネル」（P.44）で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について
- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■料金について
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能なネットワークに接続されます。

■接続について
「ネットワークを自動的に選択」（P.132）をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

■データローミングの設定
海外でパケット通信を行うためには、「モバイル ネットワーク」の「データローミング」をONに設定する必要があります。

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

3 「データローミング」の「◯」をタップ→注意画面の内容を確認して[OK]

■ネットワークの設定
初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

3 [詳細設定]→「ネットワークを自動的に選択」の「◯」をタップしてOFFにする
- 注意文が表示された場合は、「OK」をタップします。
- ネットワークの検索を行います。

4 利用可能なネットワークの中から使用するネットワークをタップ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「ネットワークを自動的に選択」をONに設定するには、手順3で「ネットワークを自動的に選択」の「◯」をタップしてONにします。

■優先ネットワークの種類の設定

1 ホーム画面で[⋮⋮⋮]→[設定]

2 [ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]

3 [詳細設定]→[優先ネットワークの種類]

4 設定する優先ネットワークの種類を選択

- 「4G／3G（自動）」を選択すると、利用できるネットワークタイプを自動的に切り替えます。

■日付と時刻について

「日付と時刻」(P.121）の「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」がONの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

■お問い合わせについて

- 本端末を海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■海外でパケット通信を利用した場合

「データローミング」(P.132）をOFFに設定してください。

■帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 「優先ネットワークの種類」(P.133）を「4G／3G（自動）」に設定してください。
- 「ネットワークを自動的に選択」(P.132）をONに設定してください。

付録

試供品（カードスロットピン）

microSDカードの取り付け／取り外しを行うときに使用します。

- カードスロットピンは無料修理保証の対象外です。
- カードスロットピンの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.140「ソフトウェアアップデート」）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

症状	チェック項目	参照先
本端末の電源が入らない	電池切れになっていませんか。本端末を充電してください。	P.30
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に（電源キー）を約8秒間長押しすると、本端末を強制的に再起動することができます。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。	−

■充電

症状	チェック項目	参照先
充電ができない（通知LEDが点灯しない）	アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。	P.30
	アダプタと本端末が正しく接続されていますか。	P.32

症状	チェック項目	参照先
充電ができない（通知LEDが点灯しない）	ACアダプタ 07（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末や充電スタンドにしっかりと接続されていますか。	P.31 P.32
	USBケーブル A to C 02（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。	P.129
	充電スタンドを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.31
	充電しながら長時間操作を行うと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－

■端末操作

症状	チェック項目	参照先
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながら長時間操作を行った場合などは、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－
電池の使用時間が短い	圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 圏外の状態が続く場所では機内モードに設定するか、電源を切ってください。	P.33 P.99
	内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	－
	使用していないアプリは終了してください。	P.46

症状	チェック項目	参照先
電池の使用時間が短い	Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください。	P.92 P.126
	バッテリーセーバーを設定すると、電池の消費を抑えることができます。	P.105
タッチパネルに触れたり、キーを押しても動作しない	電源が切れていませんか。電源を入れてください。	P.33
	スリープモードになっていませんか。▯（電源キー）を押してスリープモードを解除してください。	P.33
	▯（電源キー）を約8秒間長押しして、本端末を強制的に再起動してください。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。	−
タッチパネルに触れたときの画面の反応が遅い	本端末の内部ストレージに大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに発生する場合があります。	−

症状	チェック項目	参照先
時計の時刻がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻」の「ネットワークの時刻を使用する」がONになっていることを確認し、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。	P.121
端末動作が不安定	お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 • セーフモードとは初期状態に近い状態で起動させる機能です。 • ▯（電源キー）を1秒以上長押し→［電源を切る］をロングタッチ→［OK］をタップすると、セーフモードで起動します。 セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、一度電源を切って、再度電源を入れてください。	−

症状	チェック項目	参照先
端末動作が不安定	• 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • ウィジェットやアプリが表示されなくなる場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してからご利用ください。 • 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリが正常に動作しなくなる場合があります。	−
アプリが正しく起動しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。	P.104

■画面

症状	チェック項目	参照先
ディスプレイが暗い	画面の明るさを変更していませんか。	P.106
	指やシールなどで照度センサーをふさいでいませんか。	P.25
	「明るさの自動調節」がONになっていませんか。ONの場合は周囲の明るさによってディスプレイの明るさが変わります。	P.106

■メール

症状	チェック項目	参照先
メールを自動で受信しない	メールのアカウント設定で、自動的に同期しない設定にしていませんか。	P.116

■カメラ

症状	チェック項目	参照先
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	P.25

■海外利用

症状	チェック項目	参照先
海外で本端末が使えない（「◢」が表示されている場合）	WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。	−
	国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。	P.131
	ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 ・「優先ネットワークの種類」を「4G／3G（自動）」に設定してください。 ・「ネットワークを自動的に選択」をONにしてください。	P.132
	本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	P.33
海外でデータ通信ができない	「データローミング」をONにしてください。	P.132
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	−

■データ管理

症状	チェック項目	参照先
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	−
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください。	P.27
	他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示や再生ができないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示や再生ができないことがあります。	−

症状	チェック項目	参照先
画像を表示しようとすると正しく表示されない	画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。	−

■Bluetooth機能

症状	チェック項目	参照先
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth通信対応機器（市販品）側をペアリング待ち受け状態にしてから、本端末側からペアリングを行う必要があります。ペアリング済みの機器を削除して再度ペアリングを行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）と本端末の両方でペアリングした機器を削除した後、ペアリングを行ってください。	P.127

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
通信サービスなし	サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
空き容量わずか一部のシステム機能が動作しない可能性があります。	内部ストレージまたはmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除（P.125「ファイルやフォルダを削除する」）して容量を確保してください。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。
※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
  Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
  セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ご利用条件

- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmopera Uに設定してください。
- Xi／FOMA でのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

ソフトウェアアップデートを行う

■更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
  本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
  本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
  ホーム画面で［⁘］→［設定］→［システム］→［詳細設定］→［システム アップデート］をタップし、画面の指示に従って更新を開始します。
  ※アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

■更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。
  ※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードもしくはmopera Uに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
  「今すぐ再起動」をタップすると、すぐに本端末が再起動します。
  「2:00以降に再起動」をタップすると、夜間に自動で再起動されます。
  ※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に「後で行う」をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様ご自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間はすべての機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中

・ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。

保証とアフターサービス

保証について

・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
・カードスロットピン（試供品）は無料修理保証の対象外となります。
・「カードスロットピン」は、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
・本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化･消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

<無料修理規定>
1.保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
2.保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
（1）改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
（2）落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及びUSB Type-C接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
（3）火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
（4）本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
（5）本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
（6）ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3.本保証は日本国内においてのみ有効です。
4.本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
5.お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6.修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
7.修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.134）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

▶ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

▶ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- 国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

- ドコモの携帯電話からの場合
  （局番なしの）15710（無料）
- 一般電話などからの場合
  0120-783-360
- 受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面で[⋮⋮]→[遠隔サポート]

3 [接続画面に進む]→[同意する]

4 ドコモからご案内する接続番号を入力→[開始]

5 接続後、遠隔サポートを開始

- あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINE、＋メッセージでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。
  ※LINE、＋メッセージでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で[⋮⋮]→[遠隔サポート]

2 [Q&Aサイト／アプリで調べる]

LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で[⋯]→[遠隔サポート]

2 [LINE]

＋メッセージでのお問い合わせ

1 ホーム画面で[⋯]→[遠隔サポート]

2 [＋メッセージ]

主な仕様

本体

品名		dtab Compact d-42A
サイズ		高さ：約198mm 幅：約122mm 厚さ：約8.3mm （最厚部：約9.9mm）
重量		約326g
ディスプレイ	サイズ	約8.0インチ
	種類	TFT（IPS方式）
	解像度 （ピクセル数 横×縦）	WUXGA （1,200×1,920）
	発色数	16,777,216色

内蔵メモリ		RAM：4GB ROM：64GB※1
バッテリー容量	バッテリー容量	5,000mAh
	ワット時定格値	19.3Wh
連続待受時間※2	4G（LTE）	約480時間
充電時間		ACアダプタ 07： 約150分
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 （IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz／5GHz）
Bluetooth	バージョン※3	5.0
	出力	power class 1
	対応プロファイル※4／コーデック	HFP(1.7)※5、HSP(1.2)、OPP（1.2）、SPP（1.2）、HID（1.1）、A2DP（1.3）※6、AVRCP(1.6)、BIP(1.2)、PBAP（1.2）、PAN（PAN-NAP）（1.0）、PAN（PANU）（1.0）、HOGP（1.0）
イヤホンジャック	端子径	3.5φイヤホンジャック
	極数	4極

カメラ	撮像素子	種類	メインカメラ：CCD フロントカメラ：CCD
		サイズ	メインカメラ： 1/4.0インチ フロントカメラ： 1/5.0インチ
	有効画素数		メインカメラ： 約800万画素 フロントカメラ： 約500万画素
	記録画素数		メインカメラ： 約800万画素 フロントカメラ： 約500万画素
	記録ファイル形式	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大録画時間		制限なし（メモリサイズに依存）
	ズーム（デジタル）	動画	メインカメラ： 最大約8.0倍 フロントカメラ： 最大約8.0倍
		静止画	メインカメラ： 最大約8.0倍 フロントカメラ： 最大約8.0倍

動画再生	対応コーデック	H.263／MPEG4／ H.264／MPEG2／ H.265／VP8／VP9／ AV1
音楽再生	対応コーデック	AAC／AAC LC／ AAC ELD／AAC+／ eAAC+／AMR-NB／ AMR-WB／FLAC／ MP3／Vorbis／WAVE／ Opus／G711／WMA／ Dolby AC3／eAC3／ EVRC／ALAC／APE／ DSD／QCELP／MIDI
マルチリンガル機能	表示言語	日本語、英語
	入力言語	日本語、英語

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.109）をご参照ください。

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
連続待受時間は、設定状況、使用環境などにより、大きく変動します。
各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※3 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

※4 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
※5 音声コーデックmSBC、CVSDに対応しています。
※6 音声コーデックaptX、SBC、AACに対応しています。

充電スタンド

サイズ	幅：約125mm 奥行：約93mm 厚さ：9.0mm～18.2mm
重量	約245g

カードスロットピン

長さ	約37mm
重量	約0.8g

データ通信端末の比吸収率（SAR）について

データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種【d-42A】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は1.97W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。
通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究

が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 LTE／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Terminals

This model [d-42A] device complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.
This device was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.
The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg.
The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.97 W/kg (*2). There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this device while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to access the network.
During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.
The World Health Organization has stated that "a large

number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE／FOMA.

FCC Regulatory Compliance

Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).
The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit. The highest SAR value reported to the FCC for this device type when using in portable exposure conditions is 1.11 W/kg.

FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the

following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

EU Regulatory Conformance

Body worn operation

The device complies with RF specifications when used at a distance of 0.50 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement. The highest SAR value reported for this device type when tested in portable exposure conditions is 1.35 W/kg.

Statement

Lenovo PC HK Limited declares that the radio equipment type d-42A is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: https://www.lenovo.com/us/en/compliance/eu-doc.

This device may be operated in all member states of the EU. Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本端末を利用して撮影またはウェブサイトからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにウェブサイトに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「dメニュー」、「dマーケット」、「FOMA」、「あんしん遠隔サポート」、「eトリセツ」、「イマドコサーチ」、「dアカウント」、「dフォト」、「マイマガジン」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「spモード」、「Xi／クロッシィ」、「エリアメール」、「マチキャラ」、「WORLD WING」、「my daiz」および「dmenu」ロゴ、「dmarket」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「地図アプリ」ロゴは㈱NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Googleマップ」、「Googleカレンダー」、「YouTube」、「YouTube」ロゴはGoogle LLCの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2022 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-2019 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIM情報を使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

アイコン 43
アカウント 116
　削除 117
　自動で同期 116
　手動で同期 116
　追加 116
アクセスポイント
　spモード 96
　Wi-Fi 92
　テザリング 97
アプリ 103
　キャッシュを消去 104
　ストレージを消去 104
　設定をリセット 104
　無効化 104
アプリ一覧 54
　アプリ一覧画面 51
アプリの権限 38
アラーム 82
暗証番号 35
位置情報 110
ウェブブラウザ 70
エラーメッセージ 139
エリアメール 69
遠隔サポート 144
音 107
音声エージェント 47

か

顔認証 114
壁紙 106
カメラ 73
　撮影画面 74
　静止画の撮影 75
　設定 76
　動画の撮影 75
画面の自動回転 38
画面の保存 38
画面ロック 112
画面ロックの解除 112
キッズモード 88
機内モード 99
キャスト 130
緊急速報 69
言語と入力 120
国際ローミング 131
故障かな？と思ったら 134

さ

ジェスチャー 120
システム 119
システム ナビゲーション 120

自分の電話番号 122
指紋認証機能 113
充電 30
ACアダプタ 32
DCアダプタ 32
充電スタンド 31
充電スタンド 31
出荷時リセット 122
仕様 145
初期設定 34
シンプルメニュー 53
スケジュール 85
作成 85
表示 85
ステータスアイコン 44
ステータスバー 43
ストップウォッチ 84
ストレージ 109
すべてのデータを消去（出荷時リセット） 122
スライド（スワイプ） 37
スリープモード 33
静止画
再生 77
撮影 75
世界時計 83
セキュリティ 111
接続済みのデバイス 102
設定メニュー 91
ソフトウェアアップデート 140

た

タイマー 83
タスクマネージャー 46
タッチパネル 36
タップ 36
ダブルタップ 36
タブレット情報 122
通知 103
通知LED 43
通知アイコン 43
通知音 107
ディスプレイ 106
明るさのレベル 106
データ使用量 95
データセーバー 97
テザリング
Bluetoothテザリング 99
USBテザリング 98
Wi-Fiテザリング 98
天気予報 84
電源を入れる／切る 33
電池 105
電話帳 59
インポート／エクスポート 62
グループ 60
登録 59
動画
再生 77
撮影 75

時計 82
ドコモデータコピー 87
ドコモのサービス／クラウド 115
ドコモメール 63
ドラッグ 37

な

内部ストレージ 124
ナビ 80
ナビゲーションボタン 38
ネットワーク暗証番号 35
ネットワークとインターネット 91

は

バイブレーション 107
パソコンと接続 129
バックアップ 87
日付と時刻 121
ピンチ 37
ファイル 124
フォト 77
ブックマーク 71
プライバシー 110
フリック 36
分割画面 46
防水／防塵性能 21
ホームアプリの切り替えかた 48
ホーム画面 48

ま

マイマガジン 52
マナーモード 108
　マナーモード（サイレント モード） 108
　マナーモード（バイブあり） 108
　マナーモード（バイブなし） 108
メモ 86
目次 2
文字入力 39
　キーボードタイプ 39
　キーボードタイプを変更する 41
　設定 42
　フリック入力 41
　文字列の編集 42
モバイルデータ 95
モバイルネットワーク 95

や

ユーザー補助 117

ら

ラジオ 79
リセット オプション 122
ロングタッチ 37

英数字

Android 12による変更点 S-1
Bluetooth
　データの送受信 128
　ペアリング／接続 127
Bluetooth通信 126
Digital Wellbeingと保護者による使用制限 119
docomo LIVE UX 48
dアカウント 35
dマーケット 78
dメニュー 78
Gmail
　作成／送信 69
　表示 69
Google 119
Google アカウント ..... 34、116
Google マップ 80
GPS 80
iWnn IME 39
microSDカード 124
　取り付け／取り外し 27
　フォーマット 109
my daiz NOW 52
Playストア 78
　アンインストール 79
　インストール 78
SAR 147
USBストレージ 109
VPN 99
Wi-Fi 92
Wi-Fi Direct 94
YouTube 79
+メッセージ 63

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合はマナーモードに設定しましょう

■運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所に注意しましょう

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー→My docomo
パソコンから　My docomo
（https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/）

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600（無料）**

（「+」は「0」をロングタッチします。）
※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600（有料）**

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間
24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151（無料）**

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間

午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113（無料）**

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間

24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
  ドコモのホームページ　https://www.docomo.ne.jp/

試供品のお問い合わせ先

レノボ・サポート　タブレット窓口

■固定電話からの場合

0120-994-244

■携帯電話、PHS、IP電話からの場合

0570-045-077（通話料お客様負担）

受付時間　午前9:00～午後6:00（指定休業日を除く）

※毎月の休業日は下記URLにてご案内しております。
https://support.lenovo.com/jp/ja/solutions/hf001521#calendar

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

モバイル リサイクル ネットワーク

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Lenovo PC HK Limited
'22.10（3.1版）